# 平成29年度開かれた大学づくりに関する調査研究

【調査報告書】

平成30年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

### 目 次

【調笡美虺概要】	
1 調査研究の趣旨	1
2 調査研究の方法	1
A アンケート調査結果 ― 大学編	5
【回答者プロフィール】	
1 開かれた大学づくりに関する実施方針	8
2 公開講座の実施状況	22
3 地域連携の状況	42
4 学生と地域が協働して行う活動の状況	51
5 社会人の学び直しについて	62
<b>6 講座の新規開設・開講講座の改廃について</b>	77
7 出前講座・出張講義について	79
8 サテライト教室の設置状況	87
9 保育施設の設置状況	88
10 施設の開放状況	92
11 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針	94
B アンケート調査結果 — 短大編	99
【回答者プロフィール】	101
1 開かれた大学づくりに関する実施方針	102
2 公開講座の実施状況	113
3 地域連携の状況	134
4 学生と地域が協働して行う活動の状況	140
5 社会人の学び直しについて	151
6 講座の新規開設・開講講座の改廃について	165
7 出前講座・出張講義について	167
8 サテライト教室の設置状況	172
9 保育施設の設置状況	173
10 施設の開放状況	177
11 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針	
C 事例調査結果・まとめ	185
事例調査結果	
【まとめ】	
参考資料:調査票	

#### 【調查実施概要】

#### 1 調査研究の趣旨

大学(短期大学含む。以下同じ)は、地域や社会の知の拠点として、住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支えると同時に、地域や社会の課題を共に解決し、その活性化や新たな価値の創造への積極的な貢献が求められている。また、こうした取組を継続して行うことが、大学が地域等に支えられる機関としての確固たる地位を築くことにつながっていくと考えられる。

本調査は、住民等の学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座の実施状況のほか、大学と地域との関係構築に関する取組状況を把握・分析することで、開かれた大学づくりを推進するための基礎資料を得ることを目的に実施する。

#### 2 調査研究の方法

#### (1)有識者会議の設置

本調査の円滑な実施を図るため、必要な助言等を得ることを目的に、有識者等で構成される検討委員会を設置した。

有識者会議の委員構成は下記の通り。

#### 【有識者会議 委員構成(敬称略 五十音順)】

阿部 耕也 静岡大学イノベーション社会連携推進機構・地域連携生涯学習部部門長 教授

山口 耕司 國學院大學総合企画部 エクステンション事業課 課長

山本 珠美 香川大学 生涯学習教育研究センター 准教授

#### (2)アンケート調査の実施

各大学が実施している公開講座のほか、大学と地域との関係構築に関する取組状況を正確に把握するとともに、クロス分析を行う。また、各種の基礎データを交えたクロス分析も併せて行うことで、各大学の特色を捉えて類型化する。

#### ①調査対象・方法

すべての大学(短期大学含む)に対してアンケート調査を実施する。調査の対象期間は、平成28年度 (時点調査を行う項目は平成29年5月1日)及び平成30年度の計画とした。

#### 【アンケート】

	実 施 概 要
対 象 者	全国の大学・短期大学 1,116 件
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収率	83.0%(927/1,116): 大学 84.1%(658/782)、短大 80.5%(269/334)
	※前回 (平成 27 年度調査) 93.6% (1,050/1,122) : 大学 95.9% (749/781)、短大 88.3%
	(301/341)

#### ②調査項目

調査項目については、【参考資料(調査票)】を参照

#### (3)事例調査の実施

#### ①ヒアリング項目

ヒアリング項目は以下の通り。

#### 【ヒアリング項目】

#### (1) 開かれた大学づくりに関する方針

- 実施方針
  - ・公開講座、地域連携、産学連携における学内の優先順位
  - ・学長の注力度
  - ・各組織への大学としてのバックアップ
- 組織体制
- •活動概要

#### (2)公開講座の実施状況

- ・学内での位置付け/組織体制
- 実施規模/対象/内容
- ・特色ある取組

#### (3)学生の地域貢献活動・社会人の学び直しに関する取組

- ・学内での位置付け/組織体制
- 実施規模/対象/内容
- ・特色ある取組

#### (4)地域連携

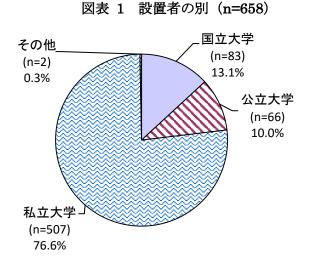
- ・学内での位置付け/組織体制
- 実施規模/連携先/内容
- ・特色ある取組
- ・地域連携のメリット/今後の課題

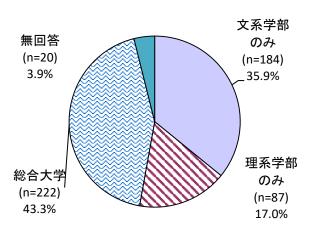
-	4	-
---	---	---

## A アンケート調査結果 — 大学編

#### 【回答者プロフィール】

図表 2 学部構成 (n=658)





図表 3 設置者別 学部構成 (n=658)

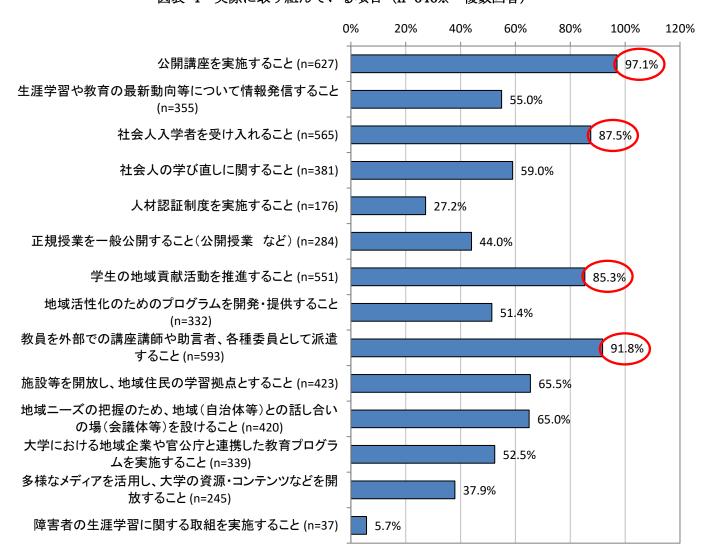
	全体	Ż	文系学部のみ	理系学部のみ	総合	合大学		その他	無回答
全体	6	58	184	87		222		145	20
	( 100.0	%) (	( 28.0%)	( 13.2%)	(	33.7%)	(	22.0%)	( 3.0%)
国立大学	:	33	10	13		47		11	2
	( 100.0	%) (	( 12.0%)	( 15.7%)	(	56.6%)	(	13.3%)	( 2.4%)
公立大学		66	11	16		15		23	1
	( 100.0	%) (	( 16.7%)	( 24.2%)	(	22.7%)	(	34.8%)	( 1.5%)
私立大学	50	)7	163	58		159		110	17
	( 100.0	%) (	( 32.1%)	( 11.4%)	(	31.4%)	(	21.7%)	( 3.4%)
その他		2	0	0		1		1	0
	( 100.0	%) (	( 0.0%)	( 0.0%)	(	50.0%)	(	50.0%)	( 0.0%)

※学校種別の「その他」は株式会社立等の大学を示す。以下において同じ。

#### 1 開かれた大学づくりに関する実施方針

#### (1)地域社会に対する大学の貢献の取組実施有無

地域社会に対する大学の貢献の取組の実施有無をきいた。特に「公開講座を実施すること (97.1%)」「教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること (91.8%)」の回答割合が高かった。その他、「社会人入学者を受け入れること (87.5%)」「学生の地域貢献活動を推進すること (85.3%)」の割合も高かった。



図表 4 実際に取り組んでいる項目 (n=646% 複数回答)

- ※1 社会人の学び直し:公開講座や正規授業等を通して実施され、主に「受講者が、現在の仕事・職業や今後の就職や転職などに役立つ専門知識や能力を身につける」「受講者個人の仕事に関する今後のキャリア形成に資する」ことを目的とする取組 ※2 人材認証制度:一定の学習や活動を経た人材の能力、経験等を客観的に証明するような仕組みをいいます。例えば、〇〇支援士、〇〇学習士、〇〇コーディネーター、〇〇マイスター等の称号・呼称の付与のほか、講座受講による修了証の交付等の仕組みまでを広く対象とする。ただし、法令に根拠のある資格やある時点における知識・技能の到達度だけを認定する検定試験は含まない。
- ※3 大学における地域企業や官公庁と連携した教育プログラム:公開講座等の生涯学習の推進を目的とした教育プログラムの他、学生向けの教育プログラムも含む。
- ※無回答の学校を母数から除外している場合があるため、nの値が異なることがある。以下において同じ。

#### 【設置者別の回答状況】

地域社会に対する大学の貢献の取組の実施有無を設置者別にみた。ほぼ全ての項目で、国立大学が実施している割合が高かった。

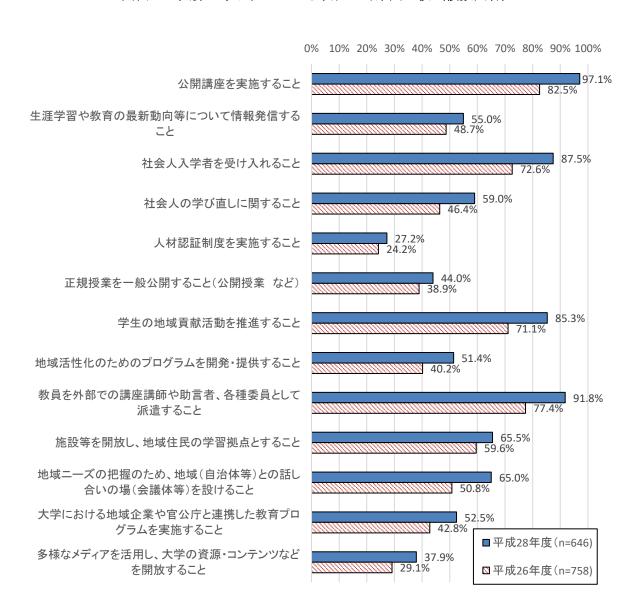
図表 5 設置者別 実際に取り組んでいる項目(複数回答)

	全体	公開講座を実施すること	生ととなるという。生活をはまた。生活をはまた。生活をはまた。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま		社会人の 学び直し に関する こと	人材認証 制度を実 施するこ と	正規授業を一般なこと(公業など)	学生の地域貢献活動を推進すること	化のため	教部座講のを外講や、員をの師者をとしませる。	開放し、	との話し	大け企公携育ラ施と	多デ活大源・コンツ開こと すること をすること	障害者の 客選に関組を を と
全体	646	627	355	565	381	176	284	551	332	593	423	420	339	245	37
	( 8.25)	( 97.1%)	( 55.0%)	( 87.5%)	( 59.0%)	( 27.2%)	( 44.0%)	( 85.3%)	( 51.4%)	( 91.8%)	( 65.5%)	( 65.0%)	( 52.5%)	( 37.9%)	( 5.7%)
国立大学	82	81	66	79	73	51	53	71	59	78	73	67	66	62	16
	( 10.91)	( 98.8%)	( 80.5%)	( 96.3%)	( 89.0%)	( 62.2%)	( 64.6%)	( 86.6%)	( 72.0%)	( 95.1%)	( 89.0%)	( 81.7%)	( 80.5%)	( 75.6%)	( 19.5%)
公立大学	65	63	38	56	42	21	33	51	37	64	39	38	30	31	1
	( 8.37)	( 96.9%)	( 58.5%)	( 86.2%)	( 64.6%)	( 32.3%)	( 50.8%)	( 78.5%)	( 56.9%)	( 98.5%)	( 60.0%)	( 58.5%)	( 46.2%)	( 47.7%)	( 1.5%)
私立大学	497	481	249	428	265	104	197	428	235	449	309	313	242	151	20
	( 7.79)	( 96.8%)	( 50.1%)	( 86.1%)	( 53.3%)	( 20.9%)	( 39.6%)	( 86.1%)	( 47.3%)	( 90.3%)	( 62.2%)	( 63.0%)	( 48.7%)	( 30.4%)	( 4.0%)
その他	2	2	2	2	1	0	1	1	1	2	2	2	1	1	0
	( 9.00)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 50.0%)	( 0.0%)	( 50.0%)	( 50.0%)	( 50.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 50.0%)	( 50.0%)	( 0.0%)

#### 【時系列比較】

地域社会に対する大学の貢献の取組の実施有無を平成26年度(平成27年度調査)と比較した。前回調査と今回調査では、調査の回収率や本設問への回答率が異なるため単純な比較は難しいが、取り組んでいる項目の傾向に大きな違いはみられない。回答の割合が10パーセント以上増加しているのは「公開講座を実施すること」「社会人入学者を受け入れること」「社会人の学び直しに関すること」「学生の地域貢献活動を推進すること」「地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること」「教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること」「地域ニーズの把握のため、地域(自治体等)との話し合いの場(会議体等)を設けること」であり、これらについては、以前よりも積極的な大学が増加している。

図表 6 実際に取り組んでいる項目の時系列比較(複数回答)



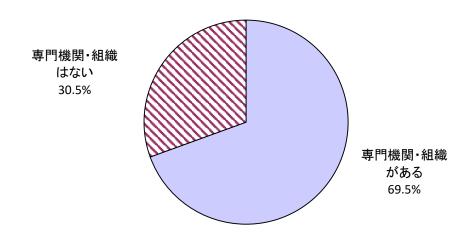
※項目が同じもののみを比較。

#### (2) 開かれた大学づくりに関する専門機関・組織の設置状況

#### ①公開講座に関する専門機関・組織

公開講座に関する専門機関・組織の設置有無をきいた。「専門機関・組織がある」の回答割合は 69.5%であった。

図表 7 公開講座に関する専門機関・組織の設置有無 (n=645)



#### 【設置者別の回答状況】

設置者別の公開講座に関する専門機関・組織の設置有無は下記の通り。設置者別で大きな違いは見られない。

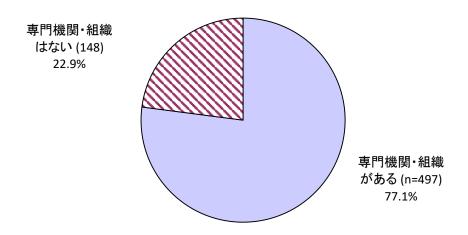
図表 8 設置者別 公開講座に関する専門機関・組織の設置有無

	全体	専門機関・組織がある	専門機関・組 織はない
全体	645	448	197
	( 100.0%)	( 69.5%)	( 30.5%)
国立大学	82	57	25
	( 100.0%	( 69.5%)	( 30.5%)
公立大学	65	46	19
	( 100.0%)	( 70.8%)	( 29.2%)
私立大学	496	345	151
	( 100.0%)	( 69.6%)	( 30.4%)
その他	2	. 0	2
	( 100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

#### ③地域連携に関する専門機関・組織

地域連携に関する専門機関・組織の有無についてきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は 77.1% であった。

図表 9 地域連携に関する専門機関・組織の設置有無 (n=645)



#### 【設置者別の回答状況】

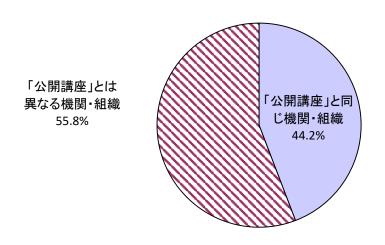
地域連携に関する専門機関・組織の有無を設置者別にみた。国立大学と公立大学において、「専門機関・組織がある」との回答割合が84.1%・89.2%であり、私立大学に比べ10ポイント近く高い。

図表 10 設置者別 地域連携に関する専門機関・組織の設置有無

				+ 00 144 BB AB
	全体		専門機関∙組	専門機関∙組
	土		織がある	織はない
全体		645	497	148
	(	100.0%)	( 77.1%)	( 22.9%)
国立大学		82	69	13
	(	100.0%)	( 84.1%)	( 15.9%)
公立大学		65	58	7
	(	100.0%)	( 89.2%)	( 10.8%)
私立大学		496	370	126
	(	100.0%)	( 74.6%)	( 25.4%)
その他		2	0	2
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

地域連携に関する専門機関・組織の設置状況についてきいた。「「公開講座」とは異なる機関・組織」との回答割合が55.8%で、半数を超えている。

図表 11 地域連携に関する専門機関・組織の設置状況 (n=491)



#### 【設置者別の回答状況】

地域連携に関する専門機関・組織の設置状況を設置者別にみた。公立大学では、「「公開講座」と同じ機関・組織」との回答割合が高い。国立大学および私立大学では、「「公開講座」とは異なる機関・組織」との回答割合が50%を超え、高い。

図表 12 設置者別 地域連携に関する専門機関・組織の設置状況

	全体		「公開講座」と 同じ機関・組 織	は	「公開講座」と は異なる機 関・組織	
全体		491	21	7	274	
	(	100.0%)	( 44.2%	) (	55.8%)	
国立大学		68	3	1	37	
	(	100.0%)	( 45.6%	) (	54.4%)	
公立大学		58	3	2	26	
	(	100.0%)	( 55.29	) (	44.8%)	
私立大学		365	15	4	211	
	(	100.0%)	( 42.2%	) (	57.8%)	

#### ④産学連携に関する専門機関・組織

産学連携に関する専門機関・組織の設置有無をきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合が 62.4% と 高い。

専門機関・組織はない 37.6% 専門機関・組織がある 62.4%

図表 13 産学連携に関する専門機関・組織の設置有無 (n=644)

#### 【設置者別の回答状況】

産学連携に関する専門機関・組織の設置有無を設置者別にみた。国立大学において「専門機関・組織がある」との回答割合が 85.4% と高い。

図表 14 設置者別 産学連携に関する専門機関・組織の設置有無

	全体		専門機関・組織がある	専門機関・組 織はない
全体		644	402	242
	(	100.0%)	( 62.4%)	( 37.6%)
国立大学		82	70	12
	(	100.0%)	( 85.4%)	( 14.6%)
公立大学		65	51	14
	(	100.0%)	( 78.5%)	( 21.5%)
私立大学		495	280	215
	(	100.0%)	( 56.6%)	( 43.4%)
その他		2	1	1
	(	100.0%)	( 50.0%)	( 50.0%)

産学連携に関する専門機関・組織の設置状況をきいた。「「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織」 との回答割合が46.0%と高い。

「公開講座」と同 じ機関・組織 31.8% 「公開講座」「地 域連携」とは異な

図表 15 産学連携に関する専門機関・組織の設置状況 (n=399)

【設置者別の回答状況】

る機関・組織 46.0%

産学連携に関する専門機関・組織の設置状況を設置者別にみた。公立大学において「「公開講座」と同じ機 関・組織」の回答割合が54.9%と高い。

「地域連携」と同 じ機関・組織 22.2%

図表 16 設置者別 産学連携に関する専門機関・組織の設置状況

	全体		「公開講座」と 同じ機関・組 織	「地域連携」と 同じ機関・組 織	「公開講座」 「地域連携」と は異なる機 関・組織		
全体		396	126	88	182		
	(	100.0%)	( 31.8%)	( 22.2%)	( 46.0%)		
国立大学		69	12	12	45		
	(	100.0%)	( 17.4%)	( 17.4%)	( 65.2%)		
公立大学		51	28	11	12		
	(	100.0%)	( 54.9%)	( 21.6%)	( 23.5%)		
私立大学		275	86	65	124		
	(	100.0%)	( 31.3%)	( 23.6%)	( 45.1%)		
その他		1	0	0	1		
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)		

#### ⑤障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織

障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置有無をきいた。「専門機関・組織がある」との回答 割合は 4.8%に留まる。

専門機関・組織 がある 4.8% 専門機関・組織 はない 95.2%

図表 17 障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置有無 (n=628)

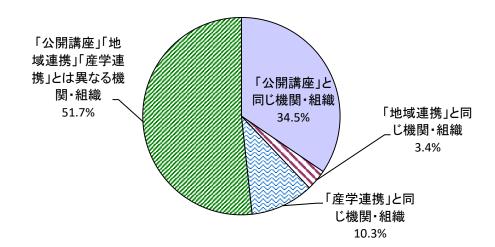
#### 【設置者別の回答状況】

障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置有無を設置者別にみた。「専門機関・組織がある」 との回答割合は、公立大学や私立大学に比べ国立大学が高いものの、9.9%に留まる。

図表 18 設置者別 障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置有無

	全体		専門機関・組織がある	専門機関・組 織はない
全体		628	30	598
	(	100.0%)	( 4.8%)	( 95.2%)
国立大学		81	8	73
	(	100.0%)	( 9.9%)	( 90.1%)
公立大学		62	2	60
	(	100.0%)	( 3.2%)	( 96.8%)
私立大学		483	20	463
	(	100.0%)	( 4.1%)	( 95.9%)
その他		2	0	2
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置状況をきいた。「「公開講座」「地域連携」「産学連携」いずれとも異なる機関・組織」であるとの回答割合が 51.7%となっている。



図表 19 障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置状況 (n=29)

#### 【設置者別の回答状況】

障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置状況を設置者別にみた。私立大学では「「公開講座」「地域連携」「産学連携」いずれとも異なる機関・組織」との回答割合が57.9%と、全体平均に比べ高い一方、公立大学では1校もみられない。

図表 20 設置者別 障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の設置状況

			「公開講座」と 同じ機関・組 織	「地域連携」と 同じ機関・組 織	「産学連携」と 同じ機関・組 織	「公開講座」 「地域連携」 「産学連携」と は異なる機 関・組織	
全体		29	10	1	3	15	
	(	100.0%)	( 34.5%)	( 3.4%)	( 10.3%)	( 51.7%)	
国立大学		8	3	1	0	4	
	(	100.0%)	( 37.5%)	( 12.5%)	( 0.0%)	( 50.0%)	
公立大学		2	0	0	2	0	
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)	
私立大学		19	7	0	1	11	
	(	100.0%)	( 36.8%)	( 0.0%)	( 5.3%)	( 57.9%)	

#### ⑥公開講座の実施に関する専門機関・組織の人員数

公開講座の実施に関する専門機関・組織の運営に関わっている人数について聞いたところ、専任教員が平均 3.6 人、兼任教員が平均 3.7 人、職員(常勤)が 3.5 人、職員(非常勤)が 1.1 人であった。国立大学や公立大学では、私立大学に比べて兼任教員や職員(非常勤)の人数が多い。

図表 21 設置者別 公開講座の実施に関する専門機関・組織の運営に関わっている平均人数(人)

	専任教員数		兼任教員数		職員(	常勤)	職員(非常勤)	
	回答大学数	平均	回答大学数	平均	回答大学数	平均	回答大学数	平均
全体	396	3.6	385	3.7	448	3.5	372	1.1
国立大学	47	2.0	52	5.6	55	2.7	53	1.6
公立大学	39	3.1	41	5.6	42	2.8	37	1.1
私立大学	310	4.0	292	3.1	351	3.7	282	1.0

#### ⑦障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の人員数

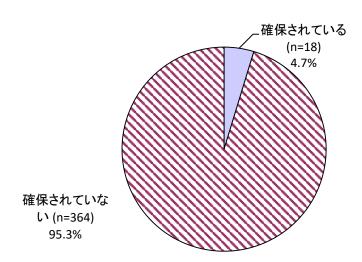
障害者の生涯学習の実施に関する専門機関・組織の運営に関わっている人数について聞いたところ、専任教員が平均 1.2 人、兼任教員が平均 1.4 人、職員(常勤)が 1.3 人、職員(非常勤)が 0.6 人であった。公立大学では専任教員が平均 2.5 人、兼任教員が平均 2.3 人で 2 人を超えており、国立大学や私立大学に比べ多い。

図表 22 設置者別 障害者の生涯学習実施に関する専門機関・組織の運営に関わっている平均人数(人)

	専任教員数		兼任教員数		職員(	常勤)	職員(非常勤)	
	回答大学数	平均	回答大学数	平均	回答大学数	平均	回答大学数	平均
全体	110	1.2	109	1.4	110	1.3	105	0.6
国立大学	18	1.3	17	1.6	17	1.2	17	1.9
公立大学	12	2.5	12	2.3	12	0.8	12	0.3
私立大学	80	1.0	80	1.2	81	1.3	76	0.3

#### ⑧障害者の生涯学習の実施状況

障害者の生涯学習の実施のための予算が確保されているか聞いた。「確保されている」との回答は 4.7%に 留まる。



図表 23 障害者の生涯学習実施に関する予算の有無 (n=382)

障害者の生涯学習の実施予算が「確保されている」と回答した大学について、予算額について聞いた。平均で 2629722.3 円であった。

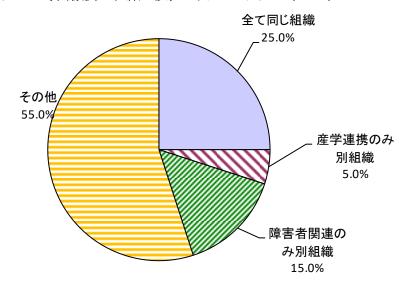
図表 24 設置者別 障害者の生涯学習実施に関する予算額

	n	平均予算額(円)
全体	17	2629722.3
国立大学	7	2286714.4
公立大学	0	0.0
私立大学	10	3132800.0

※無回答1件を含まずに平均額を算出している。

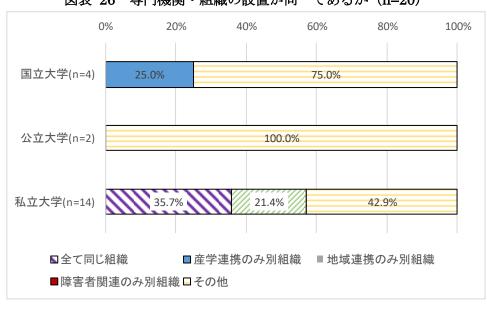
#### ⑨生涯学習等に関する専門機関・組織の状況

専門機関・組織の設置状況につき、「公開講座」「産学連携」「地域連携」「障害者の生涯学習関連」のすべての専門機関・組織がある大学についてみると、全体では「全て同じ組織」は29.2%であり、「その他」(3組織以上に分かれている)が50.0%で最も多かった。



図表 25 専門機関・組織の設置が同一であるか (n=20)

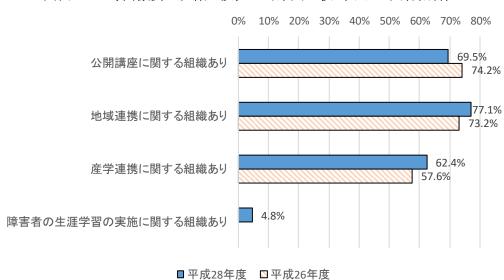
設置者別にみると、「その他」が最も多く次に「全て同じ組織」が続く傾向は、国立大学と私立大学に共通している。



図表 26 専門機関・組織の設置が同一であるか (n=20)

#### 【時系列比較】

専門機関・組織の設置状況を平成 26 年度(平成 27 年度調査)と比較した。「公開講座に関する組織」が 5 ポイント程度減少、「地域連携に関する組織」および「産学連携に関する組織」は 4~5 程度ポイント増加している。



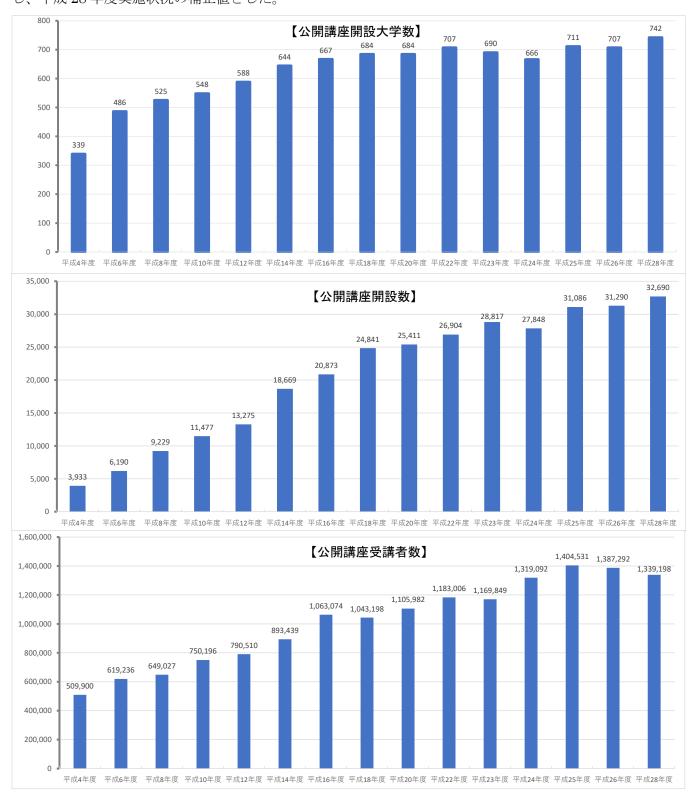
図表 27 専門機関・組織の設置の時系列比較(ありの回答割合)

※「障害者の生涯学習の実施に関する組織」については、平成26年度の状況は調査していない。

#### 2 公開講座の実施状況

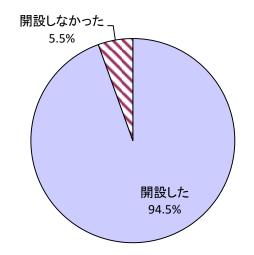
#### 【公開講座開設状況の変遷】

以下 3 点のグラフについては、前回調査に比べ回答学校数が少ない(今回…回答率 84.1% 学校数 658/782 校、前回…回答率 93.6% 学校数 749/781 校) ことから、未回答学校の実態を推測し、加算して作成した。具体的には、前回調査ー今回調査に連続して回答している大学の回答結果を比較し、「開講継続率」「講座数変動率」「受講者数変動率」を算出し、この各率を係数として、「今回未回答だが、前回回答のある大学」のデータにそれぞれ乗じ、平成 28 年度実施状況の補正値とした。



#### (1)公開講座の開設有無

公開講座の開設有無についてきいた結果を 22 ページに示す方法によって補正した結果は以下のとおりである。94.5%の大学が「開設した」と回答している。



図表 28 公開講座の開設状況 (n=785)

#### 【設置者別の回答状況】

公開講座の開設有無を設置者別にみた。いずれの設置者についても 9 割以上が「開設した」としており、 設置者別にみて大きな傾向の差はない。

	全体	開設した	開設しなかった
全体	785	742	43
(補正値:参考)	( 100.0%)	( 94.5%)	( 5.5%)
国立大学	83	83	0
	( 100.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)
公立大学	65	63	2
	( 100.0%)	( 96.9%)	( 3.1%)
私立大学	500	476	24
	( 100.0%)	( 95.2%)	( 4.8%)
その他	2	2	0
	( 100.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

図表 29 設置者別 公開講座の開設状況

#### (2)公開講座の講座数・受講者数

#### ①講座数合計

公開講座の開設講座数についてきいた。1 大学あたり平均開設講座数が最も多いのは私立大学(64.4 件)である。

図表 30 設置者別 開設講座数 (講座)

	全体	合計	平均
全体(補正値:参考)	742	32690	44.1
国立大学	72	3651	50.7
公立大学	38	1023	
私立大学	324	20866	64.4

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、開設講座数の記入があった大学の回答を集計

#### ②受講者数合計

公開講座の受講者数についてきいた。1 大学あたりの受講者数が最も多いのは国立大学(3157.6 人)である。

図表 31 設置者別 受講者数(人)

	全体	合計	平均
全体(補正値:参考)	742	1339198	1804.8
国立大学	72	227918	3165.5
公立大学	35	67841	1938.3
私立大学	306	729103	2382.7

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、受講者数の記入があった大学の回答を集計

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別、公開講座内容のカテゴリ毎に講座数をみた。多くのカテゴリで私立大学の平均講座数が多い。 国立大学では「理工系」および「地域課題解決系」、公立大学では「育児・医療・福祉系」の平均講座数が多い。

図表 32 設置者別 カテゴリ毎講座数

F	1			¥ .	11	T		, ,
A.語学系	全体		合計	平均	B.人文教養系	全体	合計	平均
全体		221	5242	·{	全体	330	<b>(</b>	16.3
国立大学		37	353	~~~~~~~	国立大学	50	<del>(</del>	7.4
公立大学		18	41		公立大学	24	\$	
私立大学		166	4848	·	私立大学	256	4796	18.7
その他		0	0		その他	0	0	
C.社会問題系	全体		合計	平均	D.ビジネス・経済系	全体	合計	平均
全体		201	768	3.8	全体	169	842	5.0
国立大学		39	107	2.7	国立大学	32	76	2.4
公立大学		22	76	3.5	公立大学	11	38	3.5
私立大学		140	585	4.2	私立大学	125	727	5.8
その他		0	0		その他	1	1	1.0
E. IT系	全体		合計	平均	F.理工系	全体	合計	平均
全体		143	663	4.6	全体	198	1876	9.5
国立大学		37	87	·	国立大学	65	<del>(</del>	
公立大学	***************************************	9	49	5.4	公立大学	18	115	
私立大学		96	526	5.5	私立大学	115	913	7.9
その他		1	1	1.0	その他	0	0	
G.趣味系	全体		合計	平均	H.芸術系	全体	合計	平均
全体		141	1742	12.4	全体	228		12.8
国立大学		25	75	3.0	国立大学	41	226	5.5
公立大学		8	30	3.8	公立大学	15	79	5.3
私立大学		108	1637	15.2	私立大学	172	2606	15.2
その他		0	0		その他	0	0	
I.スポーツ・実技系	全体		合計	平均	J.育児·医療·福祉系	全体	合計	平均
全体		182	1846	10.1	全体	351	3463	9.9
国立大学		36	138	3.8	国立大学	53	619	11.7
公立大学	***************************************	7	11	1.6	公立大学	35	530	151
私立大学		139	1697	12.2	私立大学	263	2314	8.8
その他		0	0		その他	0	0	
K.資格取得系	全体		合計	平均	L.地域課題解決系	全体	合計	平均
全体		98	656	6.7	全体	134		4.0
国立大学		13	49		国立大学	34	ģ	7.1
公立大学		6	15	2.5	公立大学	22	51	2.3
私立大学		79	592			78		
その他		0	0	7	その他	0		2
M.その他	全体		合計	平均	]			
全体		168	1598	9.5				
国立大学		43	519	12.1				
公立大学		15	57	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~				
私立大学		110	1022	ne francourant contract contra				
その他		0	0					

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、カテゴリ別の講座数の記入があった大学の回答を集計

設置者別に公開講座内容のカテゴリ毎に受講者数をみた。国立大学では「理工系」、公立大学では「育児・医療・福祉系」の平均受講者数が際立って多い。

図表 33 設置者別 カテゴリ毎受講者数

· w	A / I	1 4 - 1			I A / I	I	
A.語学系	全体	合計	平均	B.人文教養系	全体	合計	平均
全体	21		<i></i>	全体	323	252045	
国立大学	3		<del>}</del>	国立大学	48	19185	
公立大学	13	}	103.4	公立大学	24	(	******************************
私立大学	16	57999	358.0	私立大学	251	216449	862.3
その他		0		その他	0	0	
C.社会問題系	全体	合計	平均	D.ビジネス・経済系	全体	合計	平均
全体	198	50041	252.7	全体	165	31387	190.2
国立大学	38	8700	228.9	国立大学	31	5357	172.8
公立大学	2:	2 5844	265.6	公立大学	11	2181	198.3
私立大学	13	35497	257.2	私立大学	123	23849	193.9
その他		0		その他	0	0	
E. IT系	全体	合計	平均	F.理工系	全体	合計	平均
全体	14	9675	68.6	全体	195	132546	679.7
国立大学	3		<i></i>	国立大学	65	,	
公立大学		1302	162.8	公立大学	17	6400	
私立大学	9.	~~{ <sub>}</sub> ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	70.1	私立大学	113	48750	431.4
その他		48	<i></i>	その他	0	0	
G.趣味系	全体	合計	平均	H.芸術系	全体	合計	平均
全体	13		222.7	全体	223		492.0
国立大学	2	andressament and a second	\$ announce of the same of the	国立大学	40	5742	143.6
公立大学		3 2199	·	公立大学	15	4621	308.1
私立大学	10	26389	251.3	私立大学	168	99358	591.4
その他		0		その他	0	0	
I.スポーツ・実技系	全体	合計	平均	J.育児·医療·福祉系	全体	合計	平均
全体	179	*	231.7	全体	344	197591	574.4
国立大学	3.	****	francourse and a second	国立大学	53	ģ	738.1
公立大学	***************************************	437	62.4	公立大学	33	37824	
私立大学	13	35356	258.1	私立大学	258	120647	467.6
その他		0		その他	0	0	
K.資格取得系	全体	合計	平均	L.地域課題解決系	全体	合計	平均
全体	9.	18496	194.7	全体	130	30943	238.0
国立大学	13	~~}~~~~~~~	·	国立大学	34	\$	363.6
公立大学		1263	·	公立大学	22	3198	
私立大学	7	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	,	私立大学	74	ş	
その他		0	,	その他	0	Y	
M.その他	全体	合計	平均				
全体	16	3	604.9				
国立大学	4:	unigernaanse van de verdeer van de v	\$				
公立大学	1.	and an arrangement and a second	,				
私立大学	10	43959	418.7				
その他		0	,				

※公開講座を「開設した」と回答した大学のうち、カテゴリ別の受講者数の記入があった大学の回答を集計

#### ③1 講座あたり受講者数

#### 【設置者別の回答状況】

公開講座内容のカテゴリ毎の1講座あたりの平均受講者数を設置者別にみた。「その他」を除くと、国立大学では「理工系(1190.7人)」「育児・医療・福祉系(738.1人)」「資格取得系(442.8人)」、公立大学では「育児・医療・福祉系(1146.2人)」「人文教養系(683.8人)」「理工系(376.5人)」、私立大学では「人文教養系(862.3人)」「芸術系(591.4人)」「育児・医療・福祉系(467.6名)」で、1講座あたりの受講者が多い。

図表 34 設置者別 公開講座内容のカテゴリ毎の1講座あたりの平均受講者数(人)

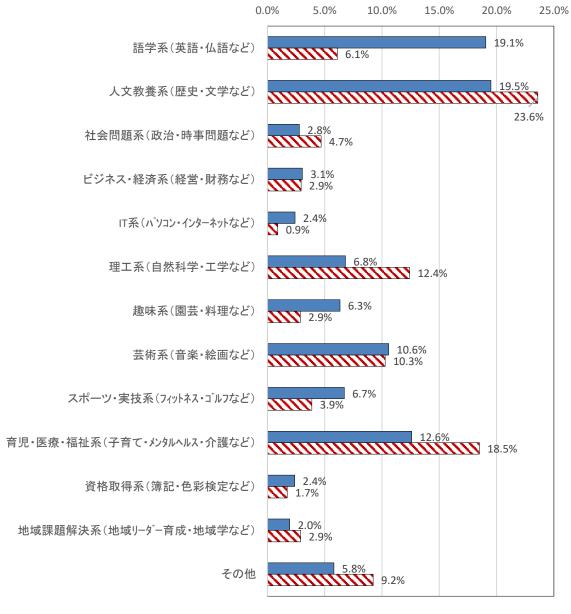
	A. 茄子术	養系	題系	D. ビジネ ス・経済系 (n=165)			G. 趣味系 (n=138)
	平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
全体	301.5	780.3	252.7	190.2	68.6	679.7	222.7
国立大学	146.1	399.7	228.9	172.8	45.0	1190.7	85.8
公立大学	103.4	683.8	265.6	198.3	162.8	376.5	274.9
私立大学	358.0	862.3	257.2	193.9	70.1	431.4	251.3
その他					48.0		

	H. 芸術系 (n=223)	I. スポー ツ・実技系 (n=179)	J. 育児·医療·福祉系 (n=344)	K. 資格取 得系(n=95)	題解決系	M. その他 講座 (n=163)
	平均	平均	平均	平均	平均	平均
全体	492.0	231.7	574.4	194.7	238.0	604.9
国立大学	143.6	162.5	738.1	442.8	363.6	1200.5
公立大学	308.1	62.4	1146.2	210.5	145.4	201.6
私立大学	591.4	258.1	467.6	151.0	207.9	418.7
その他						

#### ④カテゴリ別 講座数・受講者数の割合

講座数及び受講者数を公開講座内容のカテゴリ別(講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリ毎の割合)、を修了までの時間数毎にみた。全体では、講座数については「人文教養系(19.5%)」「語学系(19.1%)」の回答割合が高い。受講者数については「人文教養系(23.6%)」「育児・医療・福祉系(18.5%)」の回答割合が高い。

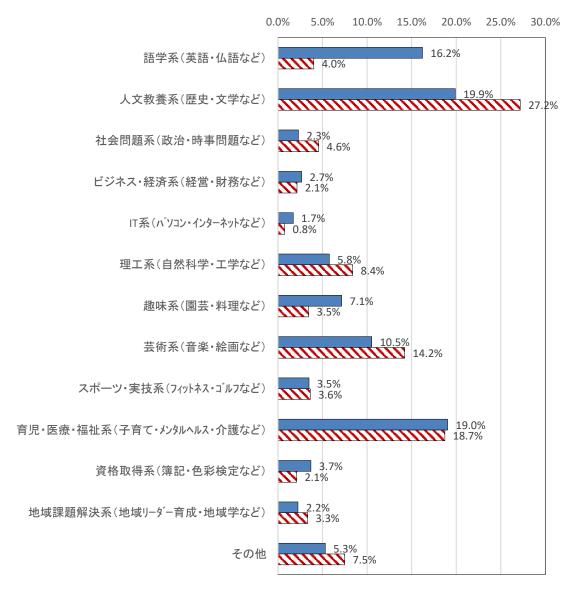
図表 35 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリ毎の割合(全体) (講座数:n=434 受講者数:n=412)



■講座数 ■受講者数

修了時間  $50\sim120$  時間の講座では、講座数・受講者数ともに「人文教養系(19.9%)、(27.2%)」「育児・医療・福祉系(19.0%)(18.7%)」の割合が高い。

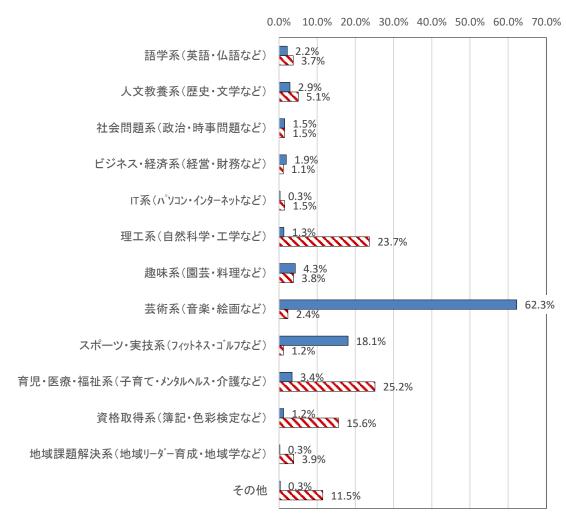
図表 36 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリ毎の割合(修了時間 50~120 時間) (講座数: n=247 受講者数: n=236)



■講座数 ■受講者数

修了時間 120 時間以上の講座では、講座数で「芸術系(62.3%)」、受講者数で「育児・医療・福祉系(25.2%)」、「理工系(23.7%)」の割合が際立っている。

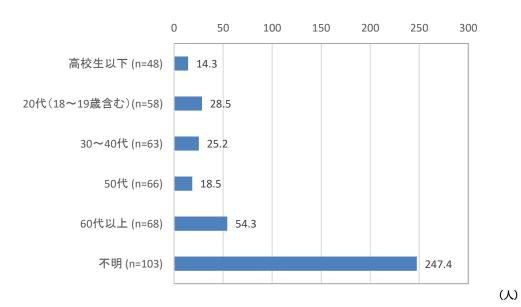
図表 37 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリ毎の割合(修了時間 120 時間以上) (講座数: n=108 受講者数: n=104)



■講座数 □受講者数

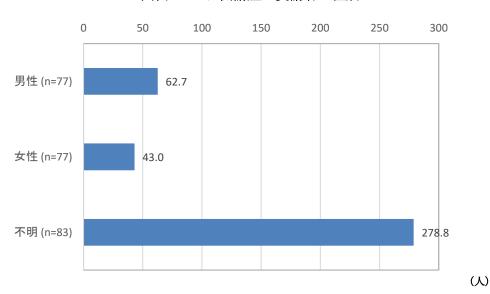
#### ⑤地域課題解決系講座を実施する大学の公開講座の受講者の年齢構成および性別

「地域課題解決系」講座を実施している大学について、公開講座の受講者の年齢構成および性別を聞いた。 60代の受講者数が54.3人で、他の年齢構成よりも多い。



図表 38 公開講座の受講者の年齢構成

図表 39 公開講座の受講者の性別



#### (3)障害者の方への取組

#### ①公開講座への障害者の方の参加状況

公開講座への障害者の方の参加状況について設置者別に聞いた。全体的に国立大学での平均参加者数が多く、国立大学以外については、1名以下である。

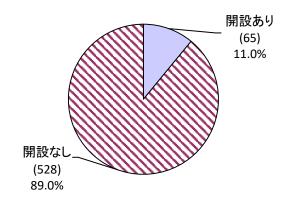
	身体障害の方		知的障害の方		精神障害の方	
	n	参加者数	n	参加者数	n	参加者数
全体	260	0.8	225	1.1	235	1.3
国立大学	36	2.6	30	4.1	30	9.3
公立大学	17	0.3	14	0.0	14	0.1
私立大学	206	0.5	180	0.7	190	0.1
その他	1	0.0	1	0.0	1	0.0

図表 40 設置者別 公開講座への障害者の方の平均参加者数(人)

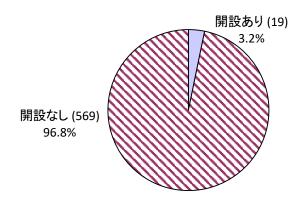
#### ②障害者の方に関する公開講座

障害者の方に関する公開講座の実施有無についてきいた。「障害者の方への支援に関する講座」は11.0%の大学で実施されているが、「障害者の方を対象とした講座」は3.2%に留まる。

図表 41 障害者の方に関する公開講座の実施有無 (障害者の方への支援についての講座) (n=593)



図表 42 障害者の方に関する公開講座の実施有無 (障害者の方を主な対象とした講座) (n=588)



# 【設置者別の回答状況】

障害者の方に関する公開講座の実施有無について、設置者別にみた。国立大学の「障害者の方への支援についての講座」の実施は 22.8%、「障害者の方を主な対象とした講座」の実施は 10.5%で公立大学、私立大学に比べ大きく上回っている。

図表 43 設置者別 障害者の方に関する公開講座の実施有無 (障害者の方への支援についての講座) (n=593)

	全体	実施あり	実施なし
全体	593	65	528
	( 100.0%)	( 11.0%)	( 89.0%)
国立大学	75	17	58
	( 100.0%)	( 22.7%)	( 77.3%)
公立大学	61	6	55
	( 100.0%)	( 9.8%)	( 90.2%)
私立大学	455	42	413
	( 100.0%)	( 9.2%)	( 90.8%)
その他	2	0	2
	( 100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

図表 44 設置者別 障害者の方に関する公開講座の実施有無 (障害者の方を主な対象とした講座) (n=588)

	全体		実施あり		実施なし	
全体		588		19		569
	(	100.0%)	(	3.2%)	(	96.8%)
国立大学		76		8		68
	(	100.0%)	(	10.5%)	(	89.5%)
公立大学		61		0		61
	(	100.0%)	(	0.0%)	( 1	00.0%)
私立大学		449		11		438
	(	100.0%)	(	2.4%)	(	97.6%)
その他		2		0		2
	(	100.0%)	(	0.0%)	( 1	00.0%)

#### ③障害者の方に関する公開講座の講座数

障害者の方に関する公開講座の講座数について設置者別にみた。「障害者の方を主な対象とする講座」については私立大学で 5.8 講座と、他の設置者より多い。

障害者の方への支援についての講座 障害者の方を主な対象とする講座 講座数 講座数 全体 62 17 4.4 国立大学 16 2.8 6.1 8 公立大学 6 1.5 0 0.0

4.6

9

5.8

40

図表 45 設置者別 障害者の方に関する講座の講座数

# 4 障害者の方に関する公開講座の受講者数

私立大学

障害者の方に関する公開講座の受講者数について設置者別にみた。「障害者の方への支援についての講座」では全設置者で100人を超え、私立大学では202.9人となっている。「障害者の方を主な対象とする講座」については、国立大学が44.0人で他の設置者に比べ多い。

障害者の方への支援についての講座 障害者の方を主な対象とする講座 受講者数 受講者数 全体 188.1 17 35.5 61 国立大学 44.0 16 170.2 8 公立大学 5 127.8 0 0.0 40 9 私立大学 202.9 27.9

図表 46 設置者別 障害者の方に関する講座の受講者数

#### ⑤障害者の方に関する公開講座の今後の設定予定

障害者の方に関する公開講座の今後の設定予定を設置者別にみた。ほぼ予定なしとの回答だが、国立大学および私立大学では「障害者の方への支援についての講座」でそれぞれ14.9%、16.1%、「障害者の方を主な対象とした講座」でそれぞれ8.6%、12.1%が「検討中である」と回答している。

図表 47 設置者別 障害者の方に関する公開講座の今後の設定予定 (障害者の方への支援についての講座) (n=420)

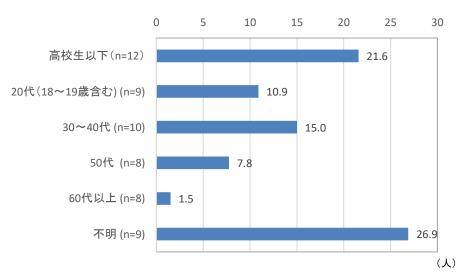
	全体		予定はある	予定はない	検討中である
全体		420	7	353	60
	(	100.0%)	( 1.7%)	( 84.0%)	( 14.3%)
国立大学		47	2	38	7
	(	100.0%)	( 4.3%)	( 80.9%)	( 14.9%)
公立大学		41	1	40	0
	(	100.0%)	( 2.4%)	( 97.6%)	( 0.0%)
私立大学		330	4	273	53
	(	100.0%)	( 1.2%)	( 82.7%)	( 16.1%)
その他		2	0	2	0
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

図表 48 設置者別 障害者の方に関する公開講座の今後の設定予定 (障害者の方を主な対象とした講座) (n=453)

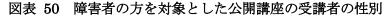
	全体		予定はある	予定はない	検討中である
全体		453	4	401	48
	(	100.0%)	( 0.9%)	( 88.5%)	( 10.6%)
国立大学		58	2	51	5
	(	100.0%)	( 3.4%)	( 87.9%)	( 8.6%)
公立大学		47	0	46	1
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 97.9%)	( 2.1%)
私立大学		346	2	302	42
	(	100.0%)	( 0.6%)	( 87.3%)	( 12.1%)
その他		2	0	2	0
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

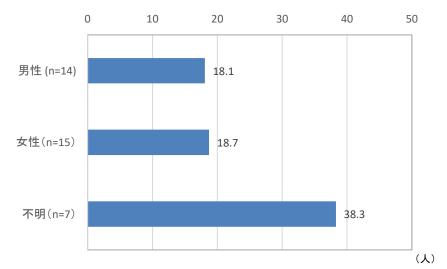
### ⑥障害者の方を主な対象とする公開講座の受講者の年齢構成および性別

障害者の方を主な対象とする公開講座を実施している大学について、受講者の年齢および性別についてきいた。年齢構成については高校生以下が 21.6 人、30 代~40 代が 15.0 人と多い。



図表 49 障害者の方を対象とした公開講座の受講者年齢構成





#### ⑦障害者の方を主な対象とする公開講座の具体的な対象者

障害者の方を主な対象とする公開講座の具体的な対象者として記入された回答の一部を以下に示す。

- 知的障害者
- ・知的障害者(18歳以上に限定)
- ・知的障害者で、療育手帳「B」判定またはこれに準ずる方
- ・身体障害、知的障害、精神障害、発達障害のいずれかに該当し、なおかつ大学所在の市内在住または市内 施設を利用している方
- 視覚障害者
- 聴覚障害者
- ・肢体障害者及び聴覚障害者

#### ⑧障害者の方を主な対象とする公開講座の内容

障害者の方を主な対象とする公開講座の内容として具体的に記入された回答の一部を以下に示す。

- ・肢体障害、視覚障害者対象パソコン講座
- ・障害児とその保護者を対象に、音楽療法活動を実施
- ・ 聴覚障害者向けの茶道体験講座
- ・臨床心理援助技法を学ぶ講座(障害児童とその保護者や、支援学校教員、障害児童臨床に関心を持つ臨床 心理士向けに実施)

#### 9 障害者の方を主な対象とする公開講座実施の際の障壁

障害者の方を主な対象とする公開講座の実施に際しての障壁として具体的に記入された回答の一部を以下 に示す。

- ボランティアやスタッフの確保
- ・他の公開講座よりも入念な準備が必要、また人員も多く必要であるが、受講料が高くなりすぎないよう、 小規模講座にせざるを得ない点
- ・障害に対する専門知識を持つスタッフの確保や、障害者の利用に対応した施設の整備

#### ⑩障害者の方を主な対象とする公開講座実施にあたって連携している機関・団体

障害者の方を主な対象とする公開講座実施にあたって連携している機関・団体として具体的に記入された 回答の一部を以下に示す。

- 市役所、教育委員会
- ・市の障害者福祉センター、福祉協会
- ・県の障害者就労支援団体

### ①障害者の方を主な対象とする公開講座実施にあたって配慮している事柄

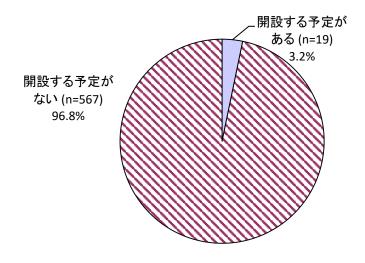
障害者の方を主な対象とする公開講座実施にあたって配慮している事柄として具体的に記入された回答の 一部を以下に示す。

- ・車いすの方などに配慮した導線、教室の設定(1Fの教室を使用する等)
- ・(事前申し込みに応じて) 手話の対応
- ・障害を持つ児童の保護者向け講座の開講に際して、保育スタッフを用意し、お子さまを預かった。

#### ②障害者の生涯学習に関するオープンカレッジ (公開講座を除く) の開設予定

障害者の生涯学習に関するオープンカレッジ(公開講座を除く)の開設予定についてきいたところ、「開設する予定がある」は 3.2% であった。

図表 51 障害者の生涯学習に関するオープンカレッジ(公開講座を除く)の開設予定(n=586)



# (4)公開講座実施に際しての取組

#### ①公開講座の受講料設定

公開講座の受講料設定についてきいた。設定されている受講料は「2,000円以上」が60.9%で最も多い。

2,000円以上 60.9% 1,000円未満 2.7% -1,000円~ 2,000円未満 7.2%

図表 52 公開講座毎の、受講料の設定金額 (n=31,483)

※すべての回答大学の「受講料別講座数」を合算し、その割合を計算した結果である。

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に採用している受講料設定をみた。公立大学では、「無料」の講座を設定している割合が高い。国立大学では、「無料」「2,000円以上」と設定している割合が高い。

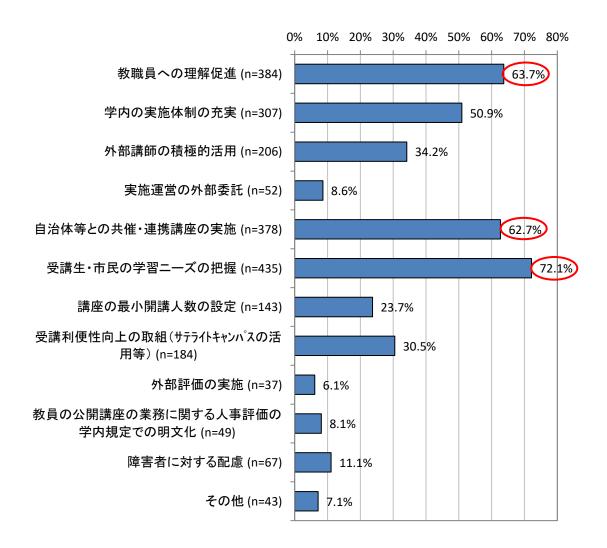
1,000円~ 1,000円未満 2,000円以上 全体 無料 2,000円未満 20.2% 84.8% 53.0% 全体 619 28.9% 国立大学 82.7% 82.7% 81 27.2% 35.8% 公立大学 15.9% 34.9% 63 93.7% 28.6% 私立大学 473 83.9% 19.7% 27.9% 50.5% その他 100.0% 0.0% 0.0% 0.0%

図表 53 設置者別 採用している受講料設定(複数回答)

### ②公開講座実施に際しての取組

公開講座実施に際しての取組についてきいた。「受講生・市民の学習ニーズの把握(72.1%)」「教職員の理解促進(63.7%)」「自治体等との共催・連携講座の実施(62.7%)」の回答割合が高かった。

図表 54 公開講座実施に際しての取組 (n=603 複数回答)



# 【設置者別の回答状況】

設置者別に公開講座実施に際しての取組についてみた。国立大学は、取り組んでいると回答した項目数が 1大学あたり 4.60 件で、全体(3.83 件)を上回っている。また、他の設置者と比べ「受講生・市民の学習ニーズの把握」「受講利便性向上の取組(サテライトキャンパスの活用等)」「外部評価の実施」「教員の公開講座の業務に関する人事評価の学内規定での明文化」「障害者に対する配慮」等の回答割合が高い。

図表 55 設置者別 公開講座実施に際しての取組(複数回答)

	全体	τ.			学内 施体 充実	制の	外部講 の積極 活用		実施運営 の外部委 託	と( 連	の共催・ 携講座	民	の字省 ーズの	講座の最 小開講人 数の設定		受講利便 性向上の 取組(サテラ 仆キャンパ <sup>°</sup> ス の活用等)	外部の写	『評価	教開業す評内の明	座の 関事学で	障害 対慮	'者に 'る配	その他	<u>h</u>
全体		603		384		307		206	52		378		435	14	43	184		37		49		67		43
	(	3.83)	(	63.7%)	(	50.9%)	( 34	.2%)	( 8.6%)	(	62.7%)	(	72.1%)	( 23.7	%)[	( 30.5%)	(	6.1%)	(	8.1%)	(	11.1%)	(	7.1%)
国立大学	_	80		51		42		24	6		57		69		26	38		8		18		16		12
	(	4.60)		63.8%)	(	52.5%)	( 30	.0%)	( 7.5%)	(	71.3%)	(	86.3%)	32.5	%)	(47.5%)	人	10.0%)		22.5%	<b>/</b> _	20.0%	( 1	5.0%)
公立大学		61		35		30		16	2		30		40		4	20		3		7		9		6
	(	3.36)	(	57.4%)	(	49.2%)	( 26	.2%)	( 3.3%)	(	49.2%)	(	65.6%)	( 6.6	%)	( 32.8%)	(	4.9%)	(	11.5%)	(	14.8%)	(	9.8%)
私立大学		430		296		235		165	44		290		325	1	13	126		26		24		42		25
	(	4.02)	(	68.8%)	(	54.7%)	( 38	.4%)	( 10.2%)	(	67.4%)	(	75.6%)	( 26.3	%)	( 29.3%)	(	6.0%)	(	5.6%)	(	9.8%)	(	5.8%)
その他		2		2		0		1	0		1		1		0	0		0		0		0		0
	(	2.50)	(	100.0%)	(	0.0%)	( 50	.0%)	( 0.0%)	(	50.0%)	(	50.0%)	( 0.0	%)	( 0.0%)	(	0.0%)	(	0.0%)	(	0.0%)	(	0.0%)

# 3 地域連携の状況

# (1)連携状況

# ①連携有無

地域連携の有無についてきいた。「自治体(地域内)」と連携している割合が87.5%と最も高く、「自治体(地域外)」と連携している割合も58.8%と高い。

30% 0% 10% 20% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 地域内:自治体 87.5% 地域内:他の大学等の教育機関 46.0% 38.9% 15.2% 地域内:企業 40.9% 15.9% 地域内: NPO法人等の非営利団体 40.4% 44.0% 15.6% 地域内:その他 31.8% 44.5% -23.7% 👌 地域外:自治体 58.8% **2**13.5% 地域外:他の大学等の教育機関 37.8% 43.1% 19.1% 地域外:企業 31.2% 19.1% 49.7% 20.2% 地域外: NPO法人等の非営利団体 26.2% 53.6% 53.4% 地域外:その他 20.5% 26.1%

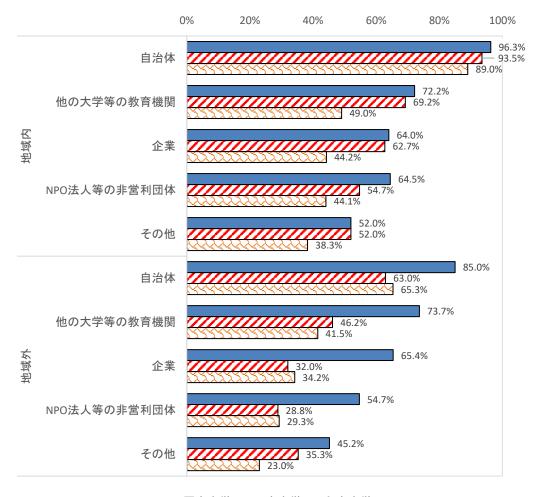
図表 56 連携先別の連携有無 (n=658)

■連携あり ■連携なし □無回答

# 【属性別の回答状況】

設置者別の地域連携についてみると、国立大学がいずれの連携についても実施割合が高い。また、地域内 自治体との連携は設置者の別を問わず高いが、地域外自治体との連携は国立大学が 85.0%であるのに対し、 公立大学で 63.0%、私立大学で 65.3%に留まる。

図表 57 設置者別 連携先別の連携内容(「連携している」の割合)

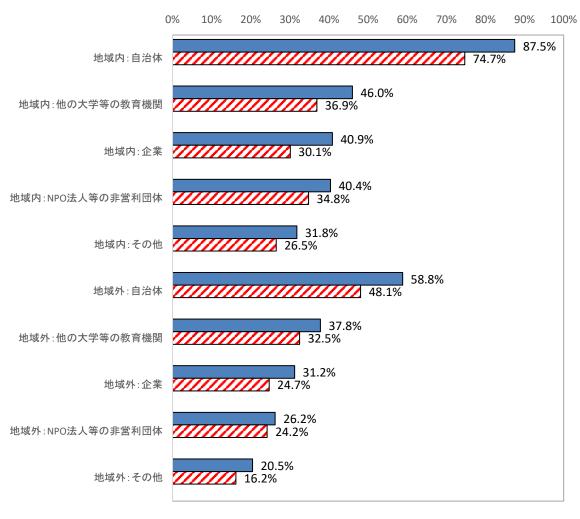


■国立大学 □公立大学 □私立大学

#### 【時系列比較】

地域別の地域連携を平成 26 年度(平成 27 年度調査)と比較した。2 か年度間で、10 ポイント以上変動があったのは「地域内:自治体」(12.8 ポイント増加)、「地域内:企業」(10.8 ポイント増加)、「地域外:自治体」(10.7 ポイント増加)であった。

図表 58 連携先別の連携の時系列比較(「連携している」の割合)



### ②連携件数

地域連携の1大学あたりの連携先件数についてみた。地域内では「企業」との連携の平均件数が多い。他 方で地域外では「自治体」「他の大学等の教育機関」との連携の平均件数が多い。大学の立地する自治体(地 域内自治体)はそもそも母数が少ない(単一キャンパスの大学の場合は1市区町村しかない)のに対し、地 域外には多数の連携先候補となる自治体があるため、特に、自治体につき「地域内」「地域外」の連携の平均 件数に大きな差が出るものと考えられる。

図表 59 連携している 1 大学あたりの連携先別連携件数

	地域	或内	地域	或外
	件数	平均	件数	平均
自治体	555	4.83	371	7.82
他の大学等の教育機関	286	3.75	233	7.64
企業	253	5.45	197	5.47
NPO法人等の非営利団体	253	4.39	164	4.56
その他	193	4.20	124	5.26

# 【設置者別の回答状況】

設置者別に地域連携の連携先件数についてみた。多くの連携先について国立大学の平均連携件数が多い。

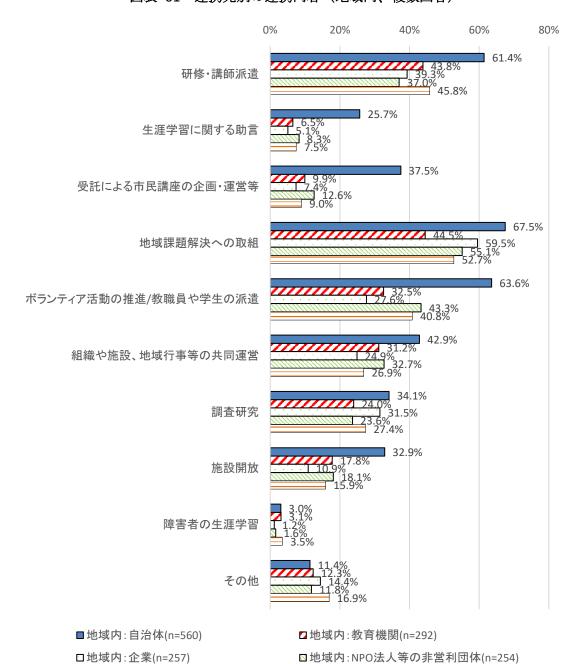
図表 60 設置者別 連携先別の連携件数

	地域内·自治体 (n=555)	地域内·教育機 関(n=286)	地域内·企業 (n=253)		地域内・その他 (n=193)
全体	4.83	3.75	5.45	4.39	4.20
国立大学	7.41	5.30	9.81	5.77	6.35
公立大学	9.86	4.06	3.06	7.07	4.84
私立大学	3.69	3.26	4.70	3.61	3.47

		地域外·教育機 関(n=233)			地域外・その他 (n=124)
全体	7.82	7.64	5.47	4.56	5.26
国立大学	15.65	16.39	7.50	6.03	6.27
公立大学	11.27	8.64	2.44	7.50	4.41
私立大学	5.52	4.52	5.06	3.65	5.00

#### ③連携内容

地域内の連携先別の連携内容についてみると、いずれの連携先とも、「地域課題解決への取組」「研修・講師派遣」「ボランティア活動の推進/教職員や学生の派遣」の回答割合が高い。



図表 61 連携先別の連携内容(地域内、複数回答)

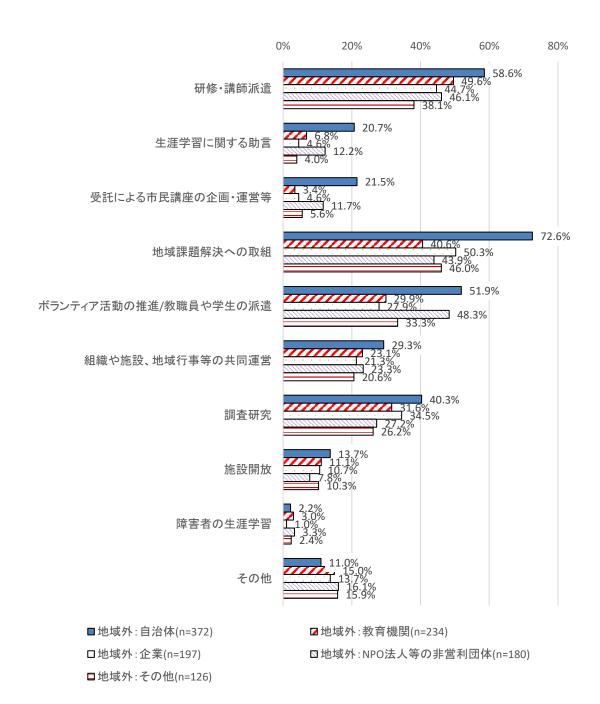
※【4 地域課題解決への取組】: 地元商店街の活性化などの地域(自治体等)の要望/ニーズに応じた取組で、学生の正規授業や課外活動における連携も含む

□地域内:その他(n=201)

地域外の連携先別の連携内容については、地域内の連携先と同様にいずれの連携先とも「研修・講師派遣」の回答割合が高い。また、自治体は「地域課題解決への取組」の回答割合が高い。

自治体と NPO 法人等の非営利団体については「ボランティア活動の推進/教職員や学生の派遣」の割合も高い。

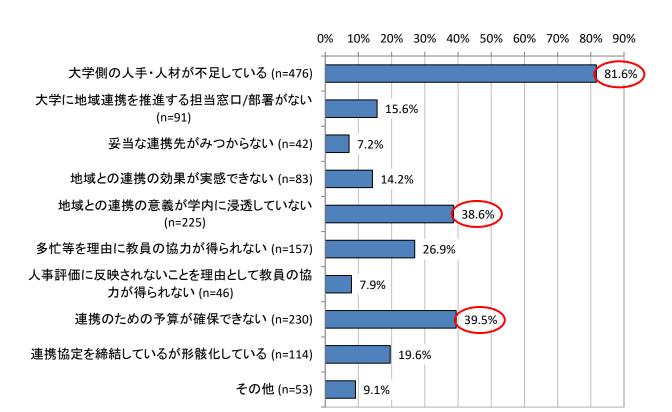




※【4 地域課題解決への取組】: 地元商店街の活性化などの地域(自治体等)の要望/ニーズに応じた取組で、学生の正規授業や課外活動における連携も含む

# (2)連携の際の課題

地域連携の際の課題についてきいた。特に「大学側の人手・人材が不足している」との回答割合が 81.6% と高い。この他、「連携のための予算が確保できない (39.5%)」「地域との連携の意義が学内に浸透していない (38.6%)」の回答割合も高い。



図表 63 連携の際の課題 (n=583 複数回答)

# 【設置者別の回答状況】

設置者別に地域連携の際の課題についてみた。多くの項目で、国立大学の回答割合が高い。ただし、これは、上述の設置者別「実際に取り組んでいる項目」でみたように、国立大学が取り組んでいる項目が多い為、課題が発生する割合も高くなっているものと考えられる(1大学あたりの「課題」の回答個数は2.60件だが、国立大学に限ると3.67件となっている)。

私立大学では、他と比べて「大学に地域連携を推進する担当窓口/部署がない」の割合が高い。

図表 64 設置者別 連携の際の課題(複数回答)

	全体		人手	・足して	大学に地 域連携を 推進する 担当窓口/ 部署がな い	妥当な連 携先がみ つからない	地域との 連携の効 果が実感 できない	地域との 連携の意 義が学内 に浸透して いない	多忙等を 理由に教 員の協力 が得られ ない	人事評価 に反映され ないことし 理由として 教員の協 力が得ら れない	きされ とを さして かの予算 が確保で きない さいるが形 骸化している。		その他
全体		583		476	91	42	83	225	157	46	23	0 114	53
	(	2.60)	(	81.6%)	( 15.6%)	( 7.2%)	( 14.2%)	( 38.6%)	( 26.9%)	( 7.9%)	( 39.5%	) ( 19.6%)	( 9.1%)
国立大学		79		67	10	7	19	46	37	13	4	9 30	12
	<b>Y</b>	3.67	<b>Y</b>	84.8%	( 12.7%)	( 8.9%)	( 24.1%)	( 58.2%)	( 46.8%)	( 16.5%)	( 62.0%	) ( 38.0%)	( 15.2%)
公立大学		59		45	6	1	5	12	12	5	1	6 11	6
	(	2.02)	(	76.3%)	( 10.2%)	( 1.7%)	( 8.5%)	( 20.3%)	( 20.3%)	( 8.5%)	( 27.1%	) ( 18.6%)	( 10.2%)
私立大学		443		363	75	34	58	167	107	28	16	4 73	35
	(	2.49)	(	81.9%)	(16.9%)	( 7.7%)	( 13.1%)	( 37.7%)	( 24.2%)	( 6.3%)	( 37.0%	) ( 16.5%)	( 7.9%)
その他		2		1	0	0	1	0	1	0		1 C	0
	(	2.00)	(	50.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 50.0%)	( 0.0%)	( 50.0%)	( 0.0%)	( 50.0%	) ( 0.0%)	( 0.0%)

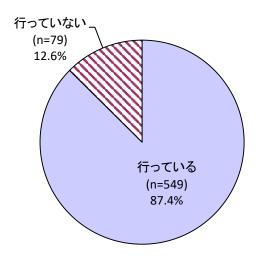
# 4 学生と地域が協働して行う活動の状況

# (1)学生の地域貢献活動の実施状況

# ①活動有無

学生の地域貢献活動の実施有無についてきいた。「行っている」との回答割合は87.4%であった。

図表 65 学生の地域貢献活動の有無 (n=628)



※学生の地域貢献活動:学生が、地域が抱える諸問題の発見とその解決に向けて、地域の人々(市民)と協力しながら行う活動

# 【属性別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の実施有無についてみた。国立、公立、私立いずれの種類の大学も「行っている」との回答割合が8割を超えている。

図表 66 設置者別 活動有無

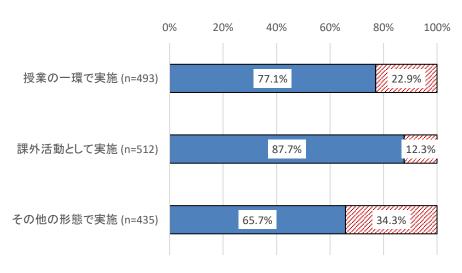
	全体		行っている	3	行っていない	
全体		628		549	7	19
	(	100.0%)	(	87.4%)	( 12.69	%)
国立大学		81		77		4
	(	100.0%)	(	95.1%)	( 4.99	%)
公立大学		63		56		7
	(	100.0%)	(	88.9%)	( 11.19	%)
私立大学		482		415	6	37
	(	100.0%)	(	86.1%)	( 13.99	%)
その他		2		1		1
	(	100.0%)	(	50.0%)	( 50.09	%)

### ②実施形態毎の実施有無

学生の地域貢献活動の実施形態別の実施有無をきいた。「課外活動として実施」の「実施あり」の回答割合 が 87.7% と高い。

また、「その他の形態での実施」については、学生団体・サークルの回答が多い。また、自治体との連携事業や委託事業という回答もみられた。

図表 67 実施形態毎の実施有無



■実施あり 図実施なし

# 【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の実施形態毎の実施有無をみた。国立大学は、「授業の一環で実施」「その他」の実施割合が他に比べて高く、私立大学は「課外活動として実施」の実施割合が他に比べて高い。

図表 68 設置者別 実施形態毎の実施有無【授業の一環で実施】

	全体		実	をあり しょうしん	実施	色なし
全体		493		380		113
	(	100.0%)	(	77.1%)	(	22.9%)
国立大学		72		59		13
	(	100.0%)	(	81.9%)	(	18.1%)
公立大学		48		38		10
	(	100.0%)	(	79.2%)	(	20.8%)
私立大学		372		282		90
	(	100.0%)	(	75.8%)	(	24.2%)
その他		1		1		0
	(	100.0%)	(	100.0%)	(	0.0%)

図表 69 設置者別 実施形態毎の実施有無【課外活動として実施】

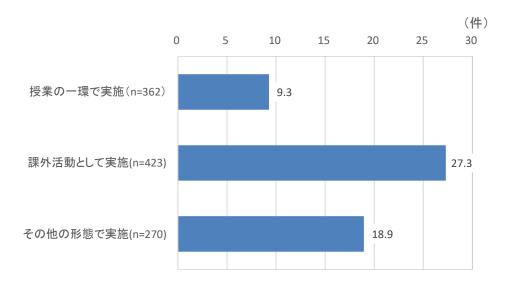
	全体		実抗	色あり	実が	立なし
全体		512		449		63
	(	100.0%)	(	87.7%)	(	12.3%)
国立大学		74		63		11
	(	100.0%)	(	85.1%)	(	14.9%)
公立大学		50		40		10
	(	100.0%)	(	80.0%)	(	20.0%)
私立大学		388		346		42
	(	100.0%)	(	89.2%)	~	10.8%)
その他		0		0		0

図表 70 設置者別 実施形態毎の実施有無【その他】

	全体		実	施あり		実	施なし
全体		435			286		149
	(	100.0%)	(	(	65.7%)	(	34.3%)
国立大学		69			54		15
	(	100.0%)	(		78.3%)	1	21.7%)
公立大学		44			31		13
	(	100.0%)	(		70.5%)	(	29.5%)
私立大学		322			201		121
	(	100.0%)	(	(	62.4%)	(	37.6%)
その他		0			0		0

# ③プログラム件数

実施形態別に学生の地域貢献活動のプログラム件数をきいた。「課外活動として実施」は、1 大学あたり平均 27.2 件実施しており、実施数が多い。



図表 71 実施形態毎のプログラム件数

#### 【設置者別の回答状況】

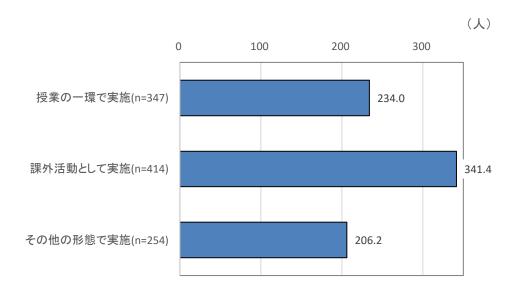
設置者別、実施形態別に学生の地域貢献活動のプログラム件数をみた。「課外活動として実施」は特に国立 大学で多く、平均 33.7 件実施されている。

		課外活動として 実施(n=423)	その他の形態 で実施(n=270)
全体	9.3	27.3	18.9
国立大学	13.6	33.7	15.8
公立大学	16.3	20.2	17.4
私立大学	7.6	27.0	20.0

図表 72 設置者別 実施形態毎のプログラム件数

# ④参加学生数

実施形態別に学生の地域貢献活動の参加学生数についてきいた。「課外活動として実施」は、1 大学あたり 平均 341.4 人参加しており参加学生数が多い。



図表 73 実施形態別 参加学生数

#### 【設置者別の回答状況】

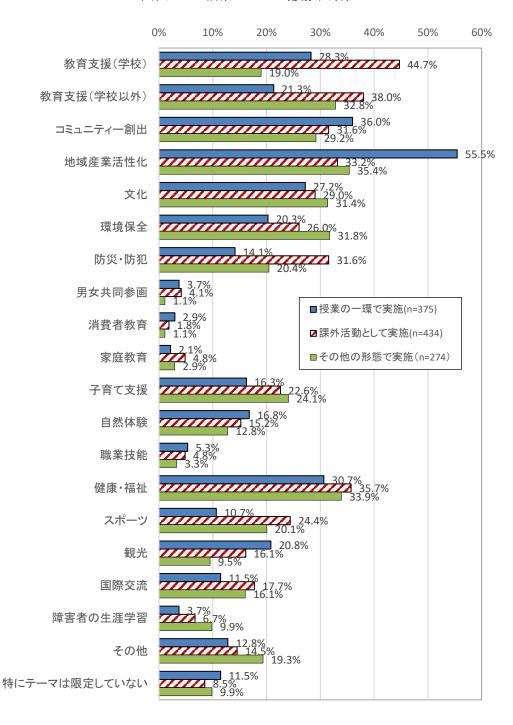
設置者別、実施形態別に学生の地域貢献活動の参加学生数についてみた。国立大学、公立大学、私立大学のいずれも「課外活動として実施」されている地域貢献活動の参加人数が最も多い。

	授業の一環で実 施(n=347)		その他の形態で 実施(n=254)
全体	234.0	341.4	206.2
国立大学	186.8	325.0	219.2
公立大学	202.3	393.3	254.2
私立大学	248.8	338.5	195.4

図表 74 設置者別 実施形態別 参加学生数(人)

### ⑤活動テーマ

学生の地域貢献活動の活動テーマについてきいた。「授業の一環で実施」については特に「地域産業活性化」の割合が55.5%と高い。「課外活動として実施」については「教育支援(学校)」の割合が44.7%で最も高い。



図表 75 活動テーマ (複数回答)

# 【設置者別の回答状況】

設置者別、実施形態毎の学生の地域貢献活動の活動テーマについてみた。「授業の一環で実施」については、 国立大学の1大学あたり回答個数は 4.41 件で、公立大学や私立大学を上回っている。

内容についてみると、全体では「地域産業活性化」の回答割合が高い。また、国立大学において「文化」「健康・福祉」「教育支援(学校以外)」等の回答割合が高い。公立大学では「コミュニティー創出」等が他に 比べ高くなっている。

「課外活動として実施」については、国立大学において「教育支援(学校)」の回答割合が高い。

図表 76 設置者別 活動テーマ【授業の一環で実施】

	全体	都 (±	(育文抜	教育支援 (学校以 外)	コミュニ ティー創出	地域産業 活性化	文化	環境保全	防災·防犯	男女共同 参画	消費者教 育	家庭教育	子育で支 援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	障害者の 生涯学習		特にテーマ は限定して いない
全体		375	106	80	135	208	102	76	53	14	11	8	61	63	20	115	40	78	43	14	48	43
	( 3	3.51) (	28.3%)	( 21.3%)	( 36.0%)	( 55.5%)	( 27.2%)	( 20.3%)	( 14.1%)	( 3.7%)	( 2.9%)	( 2.1%)	( 16.3%)	( 16.8%)	( 5.3%)	( 30.7%)	( 10.7%)	( 20.8%)	( 11.5%)	( 3.7%)	( 12.8%)	( 11.5%)
国立大学		39	19	2	29	35	22	18	8	0	0	2	8	15	6	20	6	13	12	2	11	13
	$\checkmark$	(	32.2%)	25.8%)	( 49.2%)	( 59.3%)	37.3%)	( 30.5%)	( 13.6%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 3.4%)	( 13.6%)	( 25.4%)	( 10.2%)	23.8%	( 10.2%)	( 22.0%)	( 20.3%)	( 3.4%)	( 18.6%)	( 22.0%)
公立大学		38	12	7	20	22	10	- 11	7	3	2	0	7	10	2	12	1	9	4	2	4	9
	( 4	1.05) (	31.6%)	( 18.4%)	52.0%)	( 57.9%)	( 26.3%)	( 28.9%)	( 18.4%)	( 7.9%)	( 5.3%)	( 0.0%)	( 18.4%)	( 26.3%)	( 5.3%)	( 31.6%)	( 2.6%)	( 23.7%)	( 10.5%)	( 5.3%)	( 10.5%)	( 23.7%)
私立大学		277	75	52	86	150	70	47	38	11	9	6	46	38	12	83	33	56	27	10	33	21
	( 3	3.26) (	27.1%)	( 18.8%)	( 31.0%)	( 54.2%)	( 25.3%)	( 17.0%)	( 13.7%)	( 4.0%)	( 3.2%)	( 2.2%)	( 16.6%)	( 13.7%)	( 4.3%)	( 30.0%)	( 11.9%)	( 20.2%)	( 9.7%)	( 3.6%)	( 11.9%)	( 7.6%)
その他		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	( 1	(00.1	0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	100.0%	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)

# 図表 77 設置者別 活動テーマ【課外活動として実施】

	全体	教育支援 (学校)	教育支援 (学校以 外)	コミュニ ティー創出	地域産業活性化	文化	環境保全	防災·防犯	男女共同 参画	消費者教育	家庭教育	子育で支援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	障害者の 生涯学習	その他	特にテーマ は限定して いない
全体	434	194	165	137	144	126	113	137	18	8	21	98	66	21	155	106	70	77	29	63	3 37
	( 4.11)	( 44.7%)	( 38.0%)	( 31.6%)	( 33.2%)	( 29.0%)	( 26.0%)	( 31.6%)	( 4.1%)	( 1.8%)	( 4.8%)	( 22.6%)	( 15.2%)	( 4.8%)	( 35.7%)	( 24.4%)	( 16.1%)	( 17.7%)	( 6.7%)	( 14.5%)	( 8.5%)
国立大学	61	33	26	23	26	24	10	13	1	0	3	9	17	6	22	12	15	16	7	8	13
	( 4.72)	60.7%)	( 42.6%)	( 37.7%)	( 42.6%)	( 39.3%)	( 16.4%)	( 21.3%)	( 1.6%)	( 0.0%)	( 4.9%)	( 14.8%)	( 27.9%)	( 9.8%)	( 36.1%)	( 19.7%)	( 24.6%)	( 26.2%)	( 11.5%)	( 13.1%	) ( 21.3%)
公立大学	38	16	15	13	12	9	10	13	1	0	2	8	5	1	20	7	7	7	3		7
	( 4.34)	( 42.1%)	( 39.5%)	( 34.2%)	( 31.6%)	( 23.7%)	( 26.3%)	( 34.2%)	( 2.6%)	( 0.0%)	( 5.3%)	( 21.1%)	( 13.2%)	( 2.6%)	( 52.6%)	( 18.4%)	( 18.4%)	( 18.4%)	( 7.9%)	( 23.7%	) ( 18.4%)
私立大学	335	141	124	101	106	93	93	111	16	8	16	81	44	14	113	87	48	54	19	46	17
	( 3.98)	( 42.1%)	( 37.0%)	( 30.1%)	( 31.6%)	( 27.8%)	( 27.8%)	( 33.1%)	( 4.8%)	( 2.4%)	( 4.8%)	( 24.2%)	( 13.1%)	( 4.2%)	( 33.7%)	( 26.0%)	( 14.3%)	( 16.1%)	( 5.7%)	( 13.7%	) ( 5.1%)
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(	0

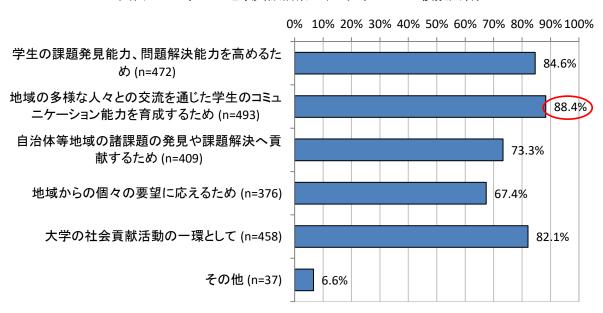
# 図表 78 設置者別 活動テーマ【その他の形態で実施】

	全体	教育支援 (学校)	教育支援 (学校以 外)	コミュニ ティー創出	地域産業活性化	文化	環境保全	防災・防犯	男女共同 参画	消費者教育	家庭教育	子育で支援	自然体験	職業技能	健康・福祉	スポーツ	観光	国際交流	障害者の 生涯学習		特にテーマ は限定して いない
全体	274	52	90	80	97	86	87	56	3	3	8	66	35	9	93	55	26	44	27	53	27
	( 3.64)	( 19.0%)	( 32.8%)	( 29.2%)	( 35.4%)	( 31.4%)	( 31.8%)	( 20.4%)	( 1.1%)	( 1.1%)	( 2.9%)	( 24.1%)	( 12.8%)	( 3.3%)	( 33.9%)	( 20.1%)	( 9.5%)	( 16.1%)	( 9.9%)	( 19.3%)	( 9.9%)
国立大学	55	9	25	19	22	16	17	9	0	2	1	10	11	2	19	13	7	10	5	11	10
	( 3.96)	( 16.4%)	( 45.5%)	( 34.5%)	( 40.0%)	( 29.1%)	( 30.9%)	( 16.4%)	( 0.0%)	( 3.6%)	( 1.8%)	( 18.2%)	( 20.0%)	( 3.6%)	( 34.5%)	( 23.6%)	( 12.7%)	( 18.2%)	( 9.1%)	( 20.0%)	( 18.2%)
公立大学	30	8	14	16	12	12	12	4	0	0	0	8	4	0	14	9	7	10	7	5	3
	( 4.83)	( 26.7%)	( 46.7%)	( 53.3%)	( 40.0%)	( 40.0%)	( 40.0%)	( 13.3%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 26.7%)	( 13.3%)	( 0.0%)	( 46.7%)	( 30.0%)	( 23.3%)	( 33.3%)	( 23.3%)	( 16.7%)	( 10.0%)
私立大学	189	35	51	45	63	58	58	43	3	1	7	48	20	7	60	33	12	24	15	37	14
	( 3.35)	( 18.5%)	( 27.0%)	( 23.8%)	( 33.3%)	( 30.7%)	( 30.7%)	( 22.8%)	( 1.6%)	( 0.5%)	( 3.7%)	( 25.4%)	( 10.6%)	( 3.7%)	( 31.7%)	( 17.5%)	( 6.3%)	( 12.7%)	( 7.9%)	( 19.6%)	( 7.4%)
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### (2)学生の地域貢献活動の目的・課題

#### ①学生の地域貢献活動の目的

学生の地域貢献活動の目的についてきいた。「地域の多様な人々との交流を通じた学生のコミュニケーション能力を育成するため」との回答割合が 88.4%と高い。



図表 79 学生の地域貢献活動の目的 (n=558 複数回答)

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の目的についてみた。国立大学の1大学あたり回答選択肢数は 4.36 件で、公立大学や私立大学に比べ多い。また、多くの項目で国立大学の回答割合が高かった。

	全体		学生の課題発 見能力、問題 解決能力を高 めるため	地域の多様な 人々との交流 を通じた学生 のコミュニ ケーション能 力を育成する ため	へ貢献するた	地域からの 個々の要望に 応えるため	大学の社会貢献活動の一環 として	8
全体		558	472	493	409	376	458	37
	(	4.02)	( 84.6%)	( 88.4%)	( 73.3%)	( 67.4%)	( 82.1%)	( 6.6%)
国立大学		78	69	74	60	63	63	11
	(	4.36)	( 88.5%)	( 94.9%)	( 76.9%)	( 80.8%)	( 80.8%)	( 14.1%)
公立大学		58	49	48	46	30	43	5
	(	3.81)	( 84.5%)	( 82.8%)	( 79.3%)	( 51.7%)	( 74.1%)	( 8.6%)
私立大学		421	353	370	302	282	351	21
***************************************	(	3.99)	( 83.8%)	( 87.9%)	( 71.7%)	( 67.0%)	( 83.4%)	( 5.0%)
その他		1	1	1	1	1	1	0
	(	5.00)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

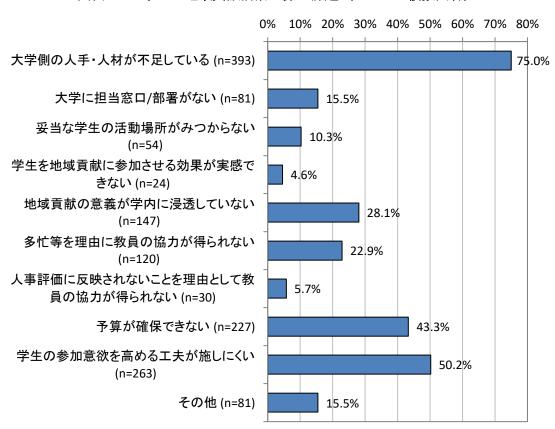
図表 80 設置者別 学生の地域貢献活動の目的(複数回答)

#### ②学生の地域貢献活動の際の課題

学生の地域貢献活動の際の課題についてきいた。地域連携の際の課題と同様、「大学側の人手・人材が不足している」との回答割合が 75.0%と高い。次いで「学生の参加意欲を高める工夫が施しにくい」が 50.2%となっている。

その他の回答として「予算が確保できない」、「地域貢献の意義が学内に浸透していない」、「多忙等を理由 に教員の協力が得られない」といった回答もみられた。

一方で、「学生を地域貢献に参加させる効果が実感できない」は 4.6%と低く、前頁の「地域の多様な人々との交流を通じた学生のコミュニケーション能力を育成するため」等の学生の地域貢献活動の目的は達成されていることが伺える。



図表 81 学生の地域貢献活動の際の課題 (n=524 複数回答)

# 【設置者別の回答状況】

設置者別に学生の地域貢献活動の際の課題についてみた。課題の回答個数は、国立大学で1大学あたり3.44件を回答しており、公立大学や私立大学に比べ多い。すなわち、公立大学や私立大学に比べ多くの課題を認識している。そのため多くの項目で国立大学の回答割合が高い。特に「予算が確保できない」については公立大学や私立大学に比べ20ポイント以上高い。

図表 82 設置者別 学生の地域貢献活動の際の課題(複数回答)

	全体		大学側の 人手・人材 が不足して いる	大学に担 当窓口/部 署がない	妥当な学 生の活動 場所がみ つからない	学生を地域 貢献に参 加させる効 果が実感 できない	地域貢献 の意義が 学内に浸 透していな い	多忙等を理 由に教員 の協力が 得られない	人事評価 に反映され ないことを 理由として 教員の協 力が得られ ない	予算が確 保できない	学生の参加意欲を高める工夫が施しにくい	その他
全体		524	393	81	54	24	147	120	30	227	263	81
	(	2.71)	( 75.0%)	( 15.5%)	( 10.3%)	( 4.6%)	( 28.1%)	( 22.9%)	( 5.7%)	( 43.3%)	( 50.2%)	( 15.5%)
国立大学		75	56	13	10	5	23	27	10	52	42	20
	(	3.44)	( 74.7%)	( 17.3%)	( 13.3%)	( 6.7%)	( 30.7%)	( 36.0%)	( 13.3%)	( 69.3%)	( 56.0%)	( 26.7%)
公立大学		51	36	9	6	1	7	10	4	15	24	9
	(	2.37)	( 70.6%)	( 17.6%)	( 11.8%)	( 2.0%)	( 13.7%)	( 19.6%)	( 7.8%)	( 29.4%)	( 47.1%)	( 17.6%)
私立大学		397	300	59	38	18	117	82	16	160	196	52
	(	2.61)	( 75.6%)	( 14.9%)	( 9.6%)	( 4.5%)	( 29.5%)	( 20.7%)	( 4.0%)	( 40.3%)	( 49.4%)	( 13.1%)
その他		1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	(	3.00)	( 100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

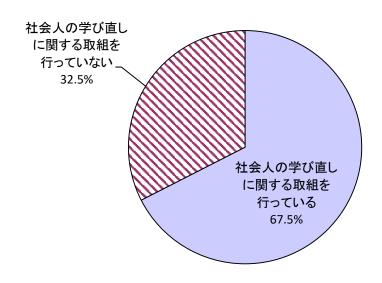
# 5 社会人の学び直しについて

#### (1)社会人の学び直しに関する取組実施状況

#### ①実施有無

社会人の学び直しに関する取組の実施有無についてきいた。「社会人の学び直しに関する取組を行っている」 との回答割合は 67.5%であった。

図表 83 社会人の学び直しに関する取組実施有無 (n=643)



社会人の学び直しであげられている特色ある取組として、例えば以下がある。教員、看護師、管理栄養士等を対象とした講座、農業関係者を対象とした講座など、専門的な職種・分野に就いている方を対象とした講座が多い。

#### 図表 84 社会人の学び直しの主な例

- ・林業専門技術者養成プログラム
- ・(教員向け)教育委員会等と連携し、新しい時代に対応した管理職研修
- 防災実務者の養成講座
- ・経営感覚・起業家マインドを持って経営革新、地域農業の確立に取り組む先進的な農業経営者を育成する講座
- ・司法通訳人や警察官(外国人捜査)を目指すための司法外国語プログラム(科目等履修生として警察官受入れ)
- ・短大の卒業生を対象とした、管理栄養士受験対策講座
- 「潜在看護師復職支援講習会」の開催

# 【属性別の回答状況】

設置者別に社会人の学び直しに関する取組の実施有無についてみた。国立大学において「行っている」との回答割合が 92.7% と高かった。

図表 85 設置者別 社会人の学び直しに関する取組実施有無

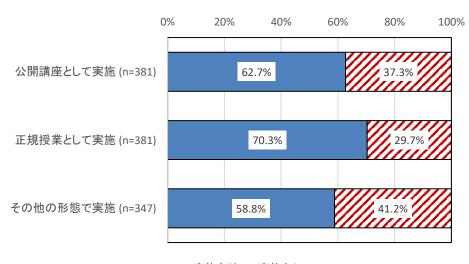
	全体		び直l する耳	人の学 しに関 取組を ている	びロサイ	会人の学 直しに関 る取組を っていな
全体		643		434		209
	(	100.0%)	(	67.5%)	(	32.5%)
国立大学		82		76		6
	(	100.0%)	(	92.7%)	(	7.3%)
公立大学		64		43		21
	(	100.0%)	(	67.2%)	(	32.8%)
私立大学		495		314		181
	(	100.0%)	(	63.4%)	(	36.6%)
その他		2		1		1
	(	100.0%)	(	50.0%)	(	50.0%)

### ②実施形態別の実施有無

実施形態別に社会人の学び直しに関する取組の実施有無をきいた。公開講座として実施の「実施あり」の 回答割合は 62.7%、正規授業として実施の「実施あり」の割合は 70.3%であった。

なお、「その他の形態での実施」については、自治体との連携事業や委託事業、研修会(公開講座とは別の 枠組みで)、市民大学等の回答がみられた。

図表 86 実施形態別 社会人の学び直しに関する取組実施有無



■実施あり ■実施なし

※正規授業は、正規学生向けの授業(正規学生と一緒に受講する授業)。科目履修制度も含む。

# 【属性別の回答状況】

設置者別に実施形態毎の社会人の学び直しに関する取組の実施有無についてみた。国立大学および公立大学では、「公開講座として実施」の割合が高く、私立大学では「正規授業として実施」の割合が高い。

図表 87 設置者別 実施形態別の社会人の学び直しに関する取組実施有無(公開講座として実施)

	全体	実施あり	実施なし
全体	381	239	142
	( 100.0%)	( 62.7%)	( 37.3%)
国立大学	72	50	22
	( 100.0%)	(69.4%)	( 30.6%)
公立大学	38	26	12
	( 100.0%)	( 68.4%)	( 31.6%)
私立大学	270	162	108
	( 100.0%)	( 60.0%)	( 40.0%)
その他	1	1	0
	( 100.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

設置者別 実施形態別 社会人の学び直しに関する取組実施有無(正規授業として実施)

	全体	実施あり	実施なし
全体	381	268	113
	( 100.0%)	( 70.3%)	( 29.7%)
国立大学	72	49	23
	( 100.0%)	( 68.1%)	( 31.9%)
公立大学	34	22	12
	( 100.0%)	( 64.7%)	( 35.3%)
私立大学	274	196	78
	( 100.0%)	( 71.5%)	28.5%)
その他	1	1	0
	( 100.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

設置者別 実施形態別 社会人の学び直しに関する取組実施有無(その他の形態で実施)

	全体	実施あり	実施なし
全体	347	204	143
	( 100.0%)	( 58.8%)	( 41.2%)
国立大学	72	54	18
	( 100.0%)	( 75.0%)	( 25.0%)
公立大学	31	12	19
	( 100.0%)	( 38.7%)	( 61.3%)
私立大学	244	138	106
	( 100.0%)	( 56.6%)	( 43.4%)
その他	0	0	0

#### ③修了までに要する受講料

実施形態別、修了までの時間数別、実施形態毎に社会人の学び直しに関する講座の修了までに要する受講料をきいた。「公開講座として実施」の平均受講料は全体で約 26,971 円であった。「正規授業として実施」の平均受講料は全体で約 305,176 円であった。

修了までに要する時間数別では、修了時間 120 時間以上での「正規授業として実施」する場合に、平均受講料 513,621 円で最も高価である。

図表 88 実施形態別 修了までの時間数別 修了までに要する受講料(円)(全体)

	公開講座として実施 合計(n=228)		その他の形態 で実施(n=192)
全体	26,971	305,176	111,310
国立大学	13,729	495,881	148,092
公立大学	12,014	258,134	101,542
私立大学	33,424	249,201	95,974

実施形態別 修了までの時間数別 修了までに要する受講料(円)(修了時間 50~120 時間)

	公開講座として実施 合計(n=132)	正規授業として実施(n=130)	その他の形態 で実施(n=104)
全体	25,646	114,332	48,784
国立大学	17,190	215,822	24,230
公立大学	3,359	68,229	8,250
私立大学	31,613	96,906	64,251

実施形態別 修了までの時間数別 修了までに要する受講料(円)(修了時間 120 時間以上)

	公開講座とし て実施 合計 (n=68)	正規授業として実施(n=117)	その他の形態 で実施(n=78)
全体	54,221	513,621	272,357
国立大学	26,250	725,295	402,895
公立大学	35,375	520,445	222,431
私立大学	67,884	413,345	196,096

#### 4プログラム件数

社会人の学び直しに関する取組のプログラム件数をきいた。公開講座として実施のプログラム件数は全体 平均 25.1 件、私立大学では 29.4 件で他の設置者に比べ多い。また、修了までに要する時間数別でも、総時間 120 時間以上の全体平均 29.4 件のところ、私立大学では 47.8 件と、他に比べ際立っている。

正規授業として実施のプログラム件数は全体平均 29.8 件で、国立大学では 58.1 件と極めて多い。修了までの総時間数別では、公立大学では  $50\sim120$  時間が 14.2 件、国立大学では 120 時間以上が 87 件で、設置者毎に差異が見られた。

図表 89 設置者別 プログラム件数 (公開講座として実施) (件)

	n	全体平均		総時間120時 間以上
全体	236	25.1	9.1	29.4
国立大学	51	20.0	10.5	0.9
公立大学	25	9.3	8.7	0.8
私立大学	159	29.4	8.8	478

設置者別 プログラム件数 (正規授業として実施) (件)

	n	全体平均	総時間50~ 120時間未満	総時間120時 間以上	
全体	250	29.8	14.6	4.6	
国立大学	47	58.1	7.4	8.7	$\triangleright$
公立大学	22	9.5	14.2	1.3	
私立大学	180	25.1	16.5	3.8	

設置者別 プログラム件数 (その他の形態で実施) (件)

	n 全体平均		総時間50~ 120時間未満	総時間120時 間以上
全体	202	13.3	9.2	1.6
国立大学	56	31.3	19.1	1.9
公立大学	15	6.5	7.4	1.2
私立大学	131	6.3	5.1	1.5

# ⑤受講者数

社会人の学び直しに関する講座について、設置者別、実施形態別に受講者数をきいた。公開講座として実施は1大学あたり平均515.1人の受講者がいる。

正規授業として実施は、1 大学あたり平均 268.3 人の受講者がおり、うち私立大学では 343.5 人で、他に 比べ多い。

修了の総時間 50-120 時間の講座と 120 時間以上の講座をみると、公開講座は修了の総時間 50-120 時間の講座の方が、受講者が多い。正規授業については、国立大学と私立大学で、修了の総時間 120 時間以上の講座の受講者数の方が多い。

図表 90 社会人の学び直しに関する講座全体の受講者数(人)

	公開講座とし て実施 (n=230)	正規授業とし て実施 (n=254)	その他の形態 で実施 (n=198)	
全体	515.1	268.3	689.2	
国立大学	636.1	89.7	1502.2	
公立大学	601.2	33.1	597.1	
私立大学	466.6	343.5	350.7	

図表 91 社会人の学び直しに関する講座のうち、修了の総時間数 50-120 時間の講座の受講者数(人)

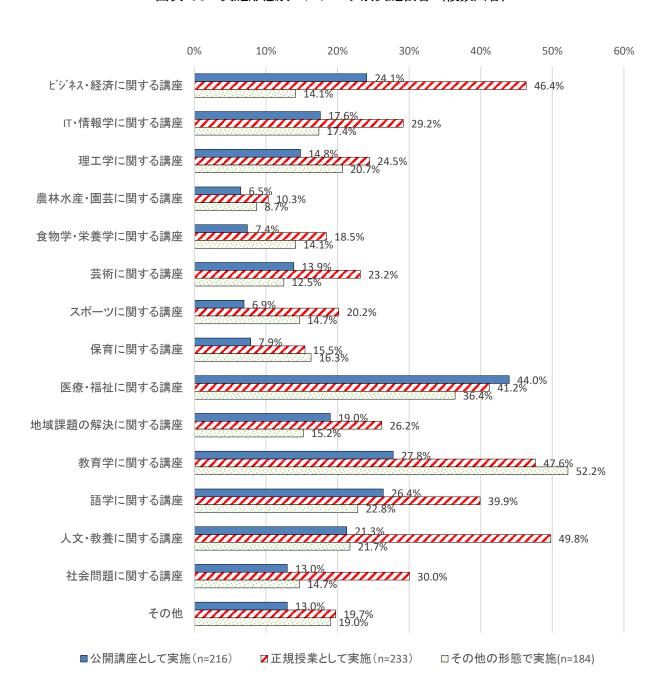
	公開講座とし	正規授業とし	その他の形態
	て実施	て実施	で実施
	(n=140)	(n=132)	(n=109)
全体	381.8	39.8	459.3
国立大学	673.5	29.0	787.8
公立大学	410.9	38.0	306.6
私立大学	300.6	43.0	344.5

図表 92 社会人の学び直しに関する講座のうち、修了の総時間数 120 時間以上の講座の受講者数(人)

		正規授業とし	
	公開講座とし	て実施	その他の形態
	て実施(n=72)	(n=119)	で実施(n=78)
全体	49.8	254.6	53.1
国立大学	30.6	69.9	75.1
公立大学	22.6	11.8	19.5
私立大学	62.8	322.1	45.0

#### ⑥カテゴリ別実施有無

社会人の学び直しに関する講座について、実施形態別、カテゴリ別に聞いた。全体では「医療・福祉に関する講座」「教育学に関する講座」「語学に関する講座」などの回答率が高く、「正規授業として実施」する場合、「ビジネス・経済に関する講座」「IT・情報学に関する講座」「人文・教養に関する講座」「社会問題に関する講座」などの回答率が高い。



図表 93 実施形態別 カテゴリ別実施割合 (複数回答)

# ⑦カテゴリ別 実施形態別 修了時間別 実施状況

社会人の学び直しに関する講座について、設置者別、カテゴリ別、修了時間別に見た。「公開講座として 実施」の場合、公立大学で「医療・福祉に関する講座」の回答率が高く(78.3%)、修了時間「120時間以 上」でも50.0%となっている。

図表 94 設置者別 カテゴリ別 修了時間別実施状況(公開講座として実施)(複数回答 n=216)

ビジネス・経済に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	IT・情報学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	52	24.1%	29.7%	22.9%	全体	38.0	17.6%	15.3%	11.4%
国立大学	13	27.1%	17.4%	0.0%	国立大学	12.0	25.0%	8.7%	16.7%
公立大学	4	17.4%	23.1%	0.0%	公立大学	3.0	13.0%	23.1%	0.0%
私立大学	35	24.1%	33.8%	32.0%	私立大学	23.0	15.9%	14.9%	12.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0.0	0.0%	100.0%	0.0%
								1	
理工学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	農林水産・園芸に関する講 座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	32	14.8%	7.2%	8.6%	全体	14	6.5%	4.5%	5.7%
国立大学	20	41.7%	21.7%	16.7%	国立大学	12	25.0%	21.7%	33.3%
公立大学	3	13.0%	7.7%	0.0%	公立大学	0	0.0%	0.0%	0.0%
私立大学	9	6.2%	2.7%	8.0%	私立大学	2	1.4%	0.0%	0.0%
その他	0	0.0%	100.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
食物学・栄養学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	芸術に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	16	7.4%	4.5%	2.9%	全体	30	13.9%	11.7%	14.3%
国立大学	5	10.4%	0.0%	0.0%	国立大学	11	22.9%	21.7%	0.0%
公立大学	1	4.3%	0.0%	0.0%	公立大学	3	13.0%	15.4%	25.0%
私立大学	10	6.9%	6.8%	4.0%	私立大学	16	11.0%	8.1%	16.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツに関する講座	n	全体	50~120時間	120時間以上	保育に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	15	6.9%	3.6%	5.7%	全体	17	7.9%	8.1%	0.0%
国立大学	3	6.3%	4.3%	0.0%	国立大学	2	4.2%	4.3%	0.0%
公立大学	0	0.0%	0.0%	0.0%	公立大学	1	4.3%	7.7%	0.0%
私立大学	12	8.3%	4.1%	8.0%	私立大学	14	9.7%	9.5%	0.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
						•			
医療・福祉に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	地域課題の解決に関する 講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	95	44.0%	39.6%	22.9%	全体	41	19.0%	21.6%	8.6%
国立大学	18	37.5%	43.5%	16.7%	国立大学	18	37.5%	30.4%	16.7%
公立大学	18	78.3%	76.9%	50.0%	公立大学	4	17.4%	23.1%	0.0%
私立大学	59	40.7%	32.4%	20.0%	私立大学	19	13.1%	18.9%	8.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
教育学に関する講座	n	全体	50~120時間	120時間以上	語学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	60	27.8%	24.3%	17.1%	全体	57	26.4%	18.9%	14.3%
国立大学	16	33.3%	8.7%	16.7%	三 国立大学	13	27.1%	8.7%	0.0%
公立大学	3	13.0%	23.1%	0.0%	公立大学	5	21.7%	23.1%	0.0%
私立大学	41	28.3%	29.7%	20.0%	私立大学	39	26.9%	21.6%	20.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
人文・教養に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	社会問題に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	46	21.3%	17.1%	11.4%	全体	28	13.0%	11.7%	5.7%
国立大学	12	25.0%	13.0%	0.0%	国立大学	9	18.8%	13.0%	0.0%
公立大学	4	17.4%	15.4%	25.0%	公立大学	3	13.0%	15.4%	0.0%
私立大学	30	20.7%	18.9%	12.0%	私立大学	16	11.0%	10.8%	8.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上					
全体	28	13.0%	14.4%	25.7%					
国立大学	7	14.6%	8.7%	0.0%					
公立大学	0	0.0%	7.7%	0.0%					
	0 21 0	0.0% 14.5% 0.0%	7.7% 17.6% 0.0%	0.0% 36.0% 0.0%					

# 図表 95 設置者別 カテゴリ別 修了時間別実施状況(正規授業として実施)(複数回答 n=233)

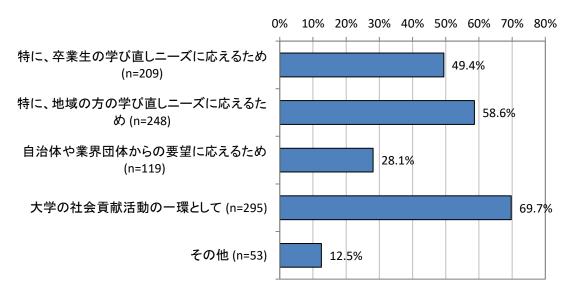
全体 50~120時間 未満 29.2% 24.1% 37.8% 11.8% 21.7% 16.7% 100.0% 100.0% 全体 50~120時間 未満 10.3% 3.6% 31.1% 17.6% 3.11% 0.0% 0.0% 0.0%	120時間以上 14.6% 19.0% 15.0% 120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
37.8%   11.8%   21.7%   16.7%   27.4%   26.8%   100.0%   100.0%   100.0%   上体   50~120時間   未満   17.4%   0.0%   3.7%   1.2%   0.0%   0.0%   26本   50~120時間   未満   50~120時間   50~120時間   未満   50~120時間   50~120世間   50~120世間	19.0% 0.0% 15.0% 0.0% 120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
21.7% 16.7% 27.4% 26.8% 100.0% 100.0%  全体 50~120時間 未満 10.3% 3.6% 31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0%  全体 50~120時間 未満	6 0.0% 15.0% 6 0.0% 120時間以上 6 4.5% 6 14.3% 6 12.5% 6 0.0%
27.4% 26.8% 100.0% 100.0% 全体 50~120時間 未満 10.3% 3.6% 31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0%	15.0% 0.0% 120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
100.0% 100.0%  全体 50~120時間 未満  10.3% 3.6% 31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0%  全体 50~120時間 未満	120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
全体 50~120時間 未満 31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0% 全体 50~120時間 未満	120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
全体 未満 10.3% 3.6% 31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0% 全体 50~120時間 未満	120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
全体 未満 10.3% 3.6% 31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0% 全体 50~120時間 未満	120時間以上 4.5% 14.3% 12.5% 0.0%
31.1% 17.6% 17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0%	14.3% 12.5% 0.0%
17.4% 0.0% 3.7% 1.2% 0.0% 0.0% 全体 50~120時間 未満	6 12.5% 6 0.0%
3.7% 1.2% 0.0% 0.0% 全体 50~120時間 未満	0.0%
0.0%     0.0%       全体     50~120時間 未満	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
全体 50~120時間 未満	5] 0.0%
未満 未満	
23.2% 19.6%	120時間以上
	9.0%
35.6% 29.4%	
13.0% 33.3%	*******************************
20.7% 14.6%	13.3%
100.0% 100.0%	0.0%
	•
全体 50~120時間 未満	120時間以上
15.5% 14.3%	9.0%
17.8% 5.9%	4.8%
13.0% 8.3%	12.5%
15.2% 17.1%	10.0%
0.0%	0.0%
全体 50~120時間 未満	120時间以上
26.2% 25.0%	
42.2% 41.2%	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
21.7% 16.7%	···
22.0% 22.0%	
100.0%	0.0%
50~120時間 未満	120時間以上
39.9% 33.0%	20.2%
37.8% 23.5%	
***************************************	
100.0%	0.070
全体 50~120時間 未満	120時間以上
30.0% 29.5%	
44.4% 35.3%	······································
30.4% 33.3%	
25.6% 26.8%	
100.0% 100.0%	0.0%
40 100 全体 30 44 30 25	0.2% 35.4% 0.0% 100.0% 50~120時間 未満 0.0% 29.5% 4.4% 35.3% 0.4% 33.3% 5.6% 26.8%

# 図表 96 設置者別 カテゴリ別 修了時間別実施状況 (その他の形態で実施) (複数回答 n=184)

ビジネス・経済に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	IT・情報学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	26	14.1%	14.3%	6.5%	全体	32	17.4%	6.6%	6.5%
国立大学	12	22.2%	9.1%	12.5%	国立大学	16	29.6%	4.5%	4.2%
公立大学	2	14.3%	16.7%	0.0%	公立大学	2	14.3%	0.0%	0.0%
私立大学	12	10.3%	16.1%	2.9%	私立大学	14	12.1%	8.1%	8.6%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
理工学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	農林水産・園芸に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体 国立大学	38 26	20.7% 48.1%	13.2% 36.4%	11.3% 25.0%	全体 国立大学	16 13	8.7% 24.1%	4.4% 13.6%	4.8% 12.5%
公立大学	3	21.4%	16.7%	0.0%	公立大学	0	0.0%	0.0%	0.0%
私立大学	9	7.8%	4.8%	2.9%	私立大学	3	2.6%	1.6%	0.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
-						•			
食物学・栄養学に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	芸術に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	26	14.1%	8.8%	6.5%	全体	23	12.5%	5.5%	1.6%
国立大学	11	20.4%	4.5%	8.3%	国立大学	13	24.1%	4.5%	0.0%
公立大学	1	7.1%	0.0%	0.0%	公立大学	1	7.1%	0.0%	0.0%
私立大学	14	12.1%	11.3%	5.7%	私立大学	9	7.8%	6.5%	2.9%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
スポーツに関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	保育に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	27	14.7%	22.0%	17.7%	全体	30	16.3%	13.2%	4.8%
国立大学	12	22.2%	9.1%	12.5%	国立大学	8	14.8%	9.1%	4.2%
公立大学	0	0.0%	16.7%	0.0%	公立大学	3	21.4%	0.0%	0.0%
私立大学	15	12.9%	25.8%	22.9%	私立大学	19	16.4%	16.1%	5.7%
その他	0	0.0%	100.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
医療・福祉に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上	地域課題の解決に関する 講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	67	36.4%	18.7%	40.3%	全体	28	15.2%	9.9%	14.5%
国立大学	21	38.9%	9.1%	45.8%	国立大学	14	25.9%	13.6%	20.8%
公立大学	8	57.1%	33.3%	100.0%	公立大学	3	21.4%	16.7%	33.3%
私立大学	38	32.8%	21.0%	31.4%	私立大学	11	9.5%	8.1%	8.6%
その他	1	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
教育学に関する講座	n	全体	50~120時間	120時間以上	語学に関する講座	n	全体	50~120時間	120時間以上
全体	96	52.2%	45.1%	11.3%	全体	42	22.8%	15.4%	11.3%
国立大学	28	51.9%	27.3%	8.3%	国立大学	17	31.5%	18.2%	0.0%
公立大学	5	35.7%	50.0%	0.0%	公立大学	4	28.6%	16.7%	0.0%
私立大学	63	54.3%	51.6%	14.3%	私立大学	21	18.1%	14.5%	20.0%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
人文・教養に関する講座	n	全体	50~120時間	120時間以上	社会問題に関する講座	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上
全体	40	21.7%	13.2%	11.3%	全体	27	14.7%	9.9%	8.1%
国立大学	13	24.1%	4.5%	8.3%	国立大学	14	25.9%	9.1%	8.3%
公立大学	3	21.4%	0.0%	0.0%	公立大学	1	7.1%	0.0%	0.0%
私立大学	24	20.7%	17.7%	14.3%	私立大学	12	10.3%	11.3%	8.6%
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%	その他	0	0.0%	0.0%	0.0%
その他	n	全体	50~120時間 未満	120時間以上					
全体	35	19.0%	11.0%	17.7%					
国立大学	17	31.5%	27.3%	25.0%					
公立大学	0	0.0%	0.0%	0.0%					
私立大学	18	15.5%	6.5%	14.3%					
その他	0	0.0%	0.0%	0.0%					
	-								

#### ⑧社会人の学び直しに関する講座開講の目的

社会人の学び直しに関する講座を開設する目的については、「大学の社会貢献活動の一環として」が最も回答率が高く(69.7%)、次いで「特に、地域の方の学び直しニーズに応えるため」(58.6%)、「特に、卒業生の学び直しニーズに応えるため」(49.4%)が続く。



図表 97 社会人の学び直しに関する講座開講の目的 (n=423)

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別では国立大学で「自治体や業界団体からの要望に応えるため」(53.9%)が、私立大学で「特に、 卒業生の学び直しニーズに応えるため」(55.4%)の回答率が他に比べ特に高い。

	全体		の学び直し ニーズに応	特に、地域の 方の学び直 しニーズに応 えるため	界団体から	大学の社会 貢献活動の 一環として	その他
全体		423	209	248	119	295	53
	(	2.18)	( 49.4%)	( 58.6%)	( 28.1%)	( 69.7%)	( 12.5%)
国立大学		76	26	46	41	63	22
	(	2.61)	( 34.2%)	( 60.5%)	( 53.9%)	( 82.9%)	( 28.9%)
公立大学		41	14	23	6	30	5
	(	1.90)	( 34.1%)	( 56.1%)	( 14.6%)	( 73.2%)	( 12.2%)
私立大学		305	169	179	71	201	25
	(	2.11)	( 55.4%)	( 58.7%)	( 23.3%)	( 65.9%)	( 8.2%)
その他		1	0	0	1	1	1
	(	3.00)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)

図表 98 設置者別 社会人の学び直しに関する講座開講の目的 (n=427)

# 9自治体や企業等の寄附講座の開講や受託の状況

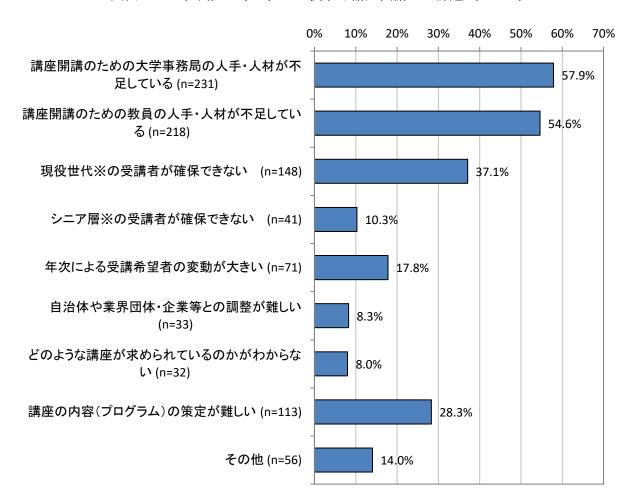
社会人の学び直しに関する講座を開講する目的が「自治体や業界団体からの要望に応えるため」と回答した大学について、自治体や企業等の寄附講座の開講や受託の状況についてきいた。全体として「自治体からの受託」(54.3%)の回答率が高い。

図表 99 自治体や企業等の寄附講座の開講や受託の状況 (n=46)

	全体	自治体の寄 附講座	企業等の寄 附講座	自治体から の受託	企業等から の受託
全体	4	6 7	6	25	9
	( 1.0	2) ( 15.2%)	( 13.0%)	( 54.3%)	( 19.6%)
国立大学	-	4 3	0	8	4
	( 1.0	7) ( 21.4%)	( 0.0%)	( 57.1%)	( 28.6%)
公立大学		4 1	1	2	0
	( 1.0	)) ( 25.0%)	( 25.0%)	( 50.0%)	( 0.0%)
私立大学		8 3	5	15	5
	( 1.0	)) ( 10.7%)	( 17.9%)	( 53.6%)	( 17.9%)

#### ⑩社会人の学び直しに関する講座開講への課題

社会人の学び直しに関する講座を開講する課題についてきいた。「講座開設のための大学事務局の人手・人材が不足している」(57.9%)「講座開講のための教員の人手・人材が不足している」(54.6%)と、人材不足を挙げる回答が多い。



図表 100 社会人の学び直しに関する講座開講への課題 (n=399)

※現役世代:現在社会人として働いている20~50歳代の者を想定。

※シニア:主に60歳以上の者を想定。

### 【設置者別の回答状況】

社会人の学び直しに関する講座を開講する際の課題について、設置者別に見た。人材不足に関する回答を除けば、国立大学で「年次による受講希望者の変動が厳しい」(30.7%)、国立大学および私立大学で「講座の内容(プログラム)の策定が難しい」(28.0%)・(30.3%)などの回答率が高い。

図表 101 設置者別 社会人の学び直しに関する講座開講への課題 (n=399)

	全体		講座開講の ための大学 事務局の人 手・人材が不 足している	講座開講の ための教員 の人手・人材 が不足している	1	者が	シニア層※ の受講者が 確保できない	講	. 割か入さ	自治体や 業界団体 企業等と 調整が難	のし	どのような 講座が求 められてい るのかがわ からない	講座の内 容(プログ ラム)の策 定が難しい		の他
全体		399	23	1 218	3	148	41	0	71		33	32	113	3	56
	(	2.36)	( 57.9%	) ( 54.6%	) (	37.1%)	( 10.3%)	(	17.8%)	( 8.3	%)	( 8.0%)	( 28.3%	) (	14.0%)
国立大学		75	5	7 59	)	25	7	-	23		12	8	2	ı	18
	(	3.07)	( 76.0%	) ( 78.7%	) (	33.3%)	( 9.3%)	(	30.7%)	( 16.0	%)	( 10.7%)	( 28.0%	) (	24.0%)
公立大学		39	1:	9 22	2	16	1		3		3	2	(	3	8
	(	2.05)	( 48.7%	) ( 56.4%	) (	41.0%)	( 2.6%)	(	7.7%)	( 7.7	%)	( 5.1%)	( 15.4%	) (	20.5%)
私立大学		284	15	5 137	'	107	33		45		18	22	86	3	29
	(	2.23)	( 54.6%	) ( 48.2%	) (	37.7%)	( 11.6%)	(	15.8%)	( 6.3	%)	( 7.7%)	( 30.3%	) (	10.2%)
その他		1		0 (	)	0	0	-	0		0	0	(	)	1
	(	1.00)	( 0.0%	) ( 0.0%	) (	0.0%)	( 0.0%)	(	0.0%)	( 0.0	%)	( 0.0%)	( 0.0%	) (	100.0%)

※現役世代:現在社会人として働いている20~50歳代の者を想定。

※シニア:主に60歳以上の者を想定。

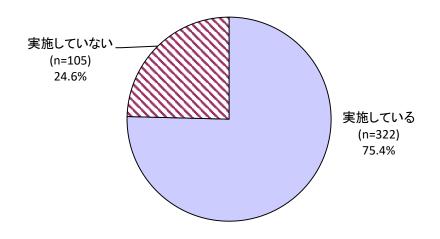
# 6 講座の新規開設・開講講座の改廃について

#### (1)講座の新規開設・開講講座の改廃の実施状況

# ①開講講座の見直しの実施有無

開講講座の見直しの実施有無について聞いた。75.4%が実施している。

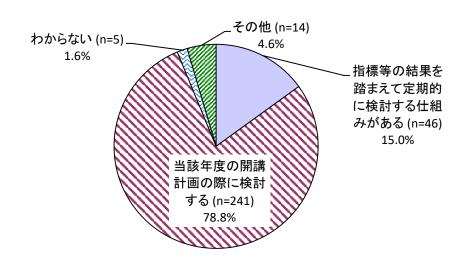
図表 102 開講講座の見直しの実施有無 (n=427)



# ②講座の改廃に関する検討方法

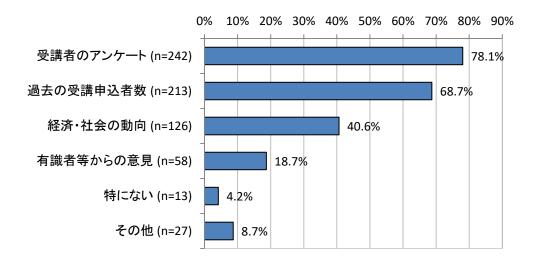
講座の改廃に関する検討方法について聞いた。78.8%が「当該年度の開講計画の際に検討する」としている。

図表 103 講座の見直しの実施方法 (n=306)



#### ③講座の改廃に関する検討の指標

講座の改廃に関して検討する際の指標について聞いた。「受講者のアンケート」(78.1%)、「過去の受講申込者数」(68.7%)の回答率が高い。



図表 104 講座の改廃に関する検討の指標 (n=310)

# 【設置者別の回答状況】

講座の改廃に関して検討する際の指標について、設置者別に見た。設置者による大きな差異はないが、国立大学の「有識者からの意見」(25.9%)が他大学に比べ高い。

	全体		受講者のア ンケート	過去の受講 申込者数	経済 動向	・社会の	有識者等か らの意見	特にない	その他
全体		310	242	213		126	58	13	27
	(	2.19)	( 78.1%)	( 68.7%)	(	40.6%)	( 18.7%)	( 4.2%)	( 8.7%)
国立大学		58	46	37		23	15	3	8
	(	2.28)	( 79.3%)	( 63.8%)	(	39.7%)	( 25.9%)	( 5.2%)	( 13.8%)
公立大学		31	25	18		12	4	1	7
	(	2.16)	( 80.6%)	( 58.1%)	(	38.7%)	( 12.9%)	( 3.2%)	( 22.6%)
私立大学		220	170	157		90	39	9	11
	(	2.16)	( 77.3%)	( 71.4%)	(	40.9%)	( 17.7%)	( 4.1%)	( 5.0%)
その他		1	1	1		1	0	0	1
	(	4.00)	( 100.0%)	( 100.0%)	(	100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

図表 105 設置者別 講座の改廃に関する検討の指標 (n=310)

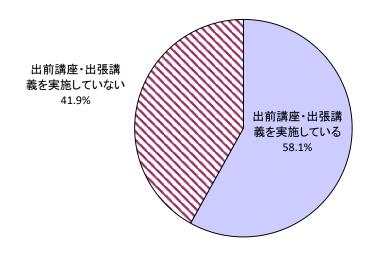
# 7 出前講座・出張講義について

# (1)出前講座・出張講義の実施状況

# ①実施有無

出前講座・出張講義の実施有無についてきいた。「実施している」との回答割合は58.1%であった。

図表 106 出前講座・出張講義の実施有無 (n=632)



※公開講座の一環で行われている出前講座等も含む。正規授業は含まない。

# 【設置者別の回答状況】

設置者別に出前講座・出張講義の実施有無についてみた。特に国立大学の「実施している」との回答割合 が 80.2% と高い。

図表 107 設置者別 出前講座・出張講義の実施有無

	全体		出前講座・出 張講義を実 施している	張諱	請座・出 ま義を実 こ ていない
全体		632	367		265
	(	100.0%)	( 58.1%)	(	41.9%)
国立大学		81	65		16
	(	100.0%)	( 80.2%)	1	19.8%)
公立大学		65	35		30
	(	100.0%)	( 53.8%)	(	46.2%)
私立大学		484	266		218
	(	100.0%)	( 55.0%)	(	45.0%)
その他		2	1		1
	(	100.0%)	( 50.0%)	(	50.0%)

### ②講座数

出前講座・出張講義の講座数についてきいた。全体では1大学あたり平均(年間)51.4件実施されている。設置者別にみると、公立大学の講座数が269.1件と、極めて多い。

図表 108 出前講座・出張講義の講座数

	n	平均	
全体	363	51.4	$\triangleright$
国立大学	66	54.7	
公立大学	34	269.1	$\triangleright$
私立大学	262	22.4	
その他	1	4.0	

# ③受講者数

出前講座・出張講義の受講者数についてきいた。全体では1大学あたり平均(年間):1,332.3人の受講者があった。設置者別にみると、国立大学の平均受講者数が、3,100.1人と多い。

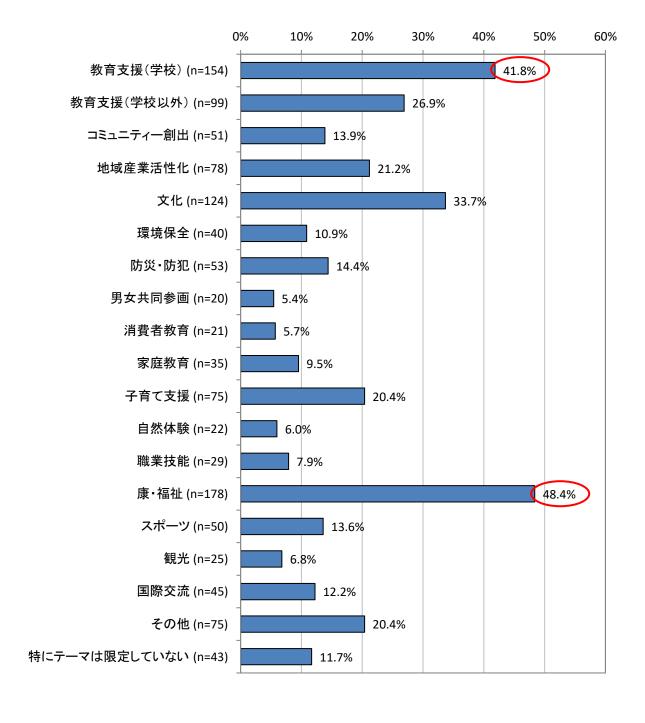
図表 109 出前講座・出張講義の受講者数

	n	平均	
全体	316	1332.3	
国立大学	60	3100.1	
公立大学	32	1566.1	
私立大学	223	828.8	
その他	1	60.0	

### ④活動テーマ

出前講座・出張講義の活動テーマについてきいた。特に「健康・福祉(48.4%)」、「教育支援(学校)(41.8%)」の回答割合が高い。

図表 110 出前講座・出張講義の活動テーマ (n=368 複数回答)



#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に出前講座・出張講義の活動テーマについてみた。国立大学についてみると、回答個数が1大学 あたり4.68件と公立大学や私立大学に比べ多く、活動の幅が広い。また、特に全体で回答割合の高かった「教 育支援(学校)」への回答割合が高い(56.1%)。

特にテーマは限定 教育支援 (学校以 教育支援 地域産業 防災·防 男女共同 消費者教 家庭教育 子育で支 自然体験 職業技能 康・福祉 スポーツ 全体 環境保全 国際交流 その他 活性化 (学校) していない 全体 14.4%) 9.5%) 20.4%) 12.2%) 41.8% 26.9%) 13.9%) 21.2%) 33.7%) 10.9%) 5.4%) 5.7%) 6.0%) 7.9%) 48.4%) 13.6%) 6.8%) 20.4%) 11.7% 国立大学 56.1% 33.3%) 47.0%) 1.5%) 6.1%) 13.6%) 22.7%) 19.7%) 42.4%) 4.68 公立大学 11.8%) 17.6%) 64.7%) 17.6%) 11.8%) ( 14.7%) 3.38) 32.4% 17.6%) 14.7%) 23.5%) 38.2%) 11.8%) ( 11.8%) 8.8%) 5.9%) 5.9%) 8.8%) 5.9%) 267 29 39.7%) 25.1%) ( 10.9%) 17.6%) 30.0%) 7.1%) ( 10.9%) 6.0%) 5.6%) 8.2%) ( 20.2%) ( 2.6%) ( 5.6%) 47.9%) ( 10.9%) 5.6%) ( 10.5%) ( 21.0%) 10.9%) その他

図表 111 設置者別 活動テーマ (複数回答)

#### ⑤活動場所

出前講座・出張講義の活動場所についてきいた。全体では「社会教育施設」での活動が多く、国立大学では「学校」での活動も多い。

図表 112 出前講座・出張講義の活動場所(設置者別、複数回答)

	全体	学校(小学校、 中学校、高校、 大学等)	社会教育施設 (公民館、図書 館、生涯学習セ ンター等)	行政機関(地方 公共団体等(2 を除く))	NPO法人	その他(企業、 高齢者福祉施 設等)
全体	365	223	271	124	41	120
	( 2.13)	( 61.1%)	( 74.2%)	( 34.0%)	( 11.2%)	( 32.9%)
国立大学	66	46	51	24	6	32
	( 2.41)	( 69.7%)	( 77.3%)	( 36.4%)	( 9.1%)	( 48.5%)
公立大学	34	21	25	14	4	14
	( 2.29)	( 61.8%)	( 73.5%)	( 41.2%)	( 11.8%)	( 41.2%)
私立大学	264	156	195	85	31	74
	( 2.05)	( 59.1%)	( 73.9%)	( 32.2%)	( 11.7%)	( 28.0%)
その他	1	0	0	1	0	0
	( 1.00)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)

# (2)インターネットで視聴できる公開講座

#### ①インターネットで視聴できる公開講座の開設状況

平成 28 年度のインターネットで視聴できる公開講座の開設状況をきいたところ、「開設している」との回答割合は 6.1%に留まった。

開設している 6.1% 開設していない 93.9%

図表 113 インターネットで視聴できる公開講座の開設状況 (n=639)

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別にインターネットで視聴できる公開講座の開設状況についてみた。国立大学では、「開設している」 割合は、13.8%となっている。

図表 114 設置者別 インターネットで視聴できる公開講座の開設状況

	全体	開設している	開設していない
全体	639	39	600
	( 100.0%)	( 6.1%)	( 93.9%)
国立大学	80	11	69
	( 100.0%)	( 13.8%)	( 86.3%)
公立大学	65	5	60
	( 100.0%)	( 7.7%)	( 92.3%)
私立大学	492	22	470
	( 100.0%)	( 4.5%)	( 95.5%)
その他	2	1	1
	( 100.0%)	( 50.0%)	( 50.0%)

### ②インターネットで視聴できる公開講座の講座数、年間視聴者数

インターネットで視聴できる公開講座の講座数は、1 大学あたり平均 50.1 講座、年間視聴者数(延べ数)は、1 大学あたり平均 41,183.8 人となっている。いずれも、国立大学での数が多い。

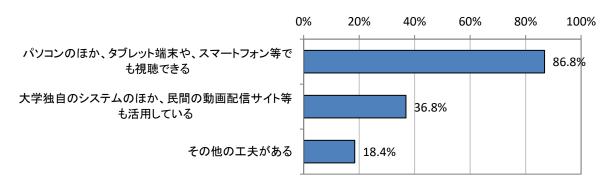
図表 115 インターネットで視聴できる公開講座の講座数、年間視聴者数

	n	年間講座数	うち受講者登 録が不要の 講座数	年間視聴者 数(延べ数)	うち受講者登 録が不要の 視聴者数
全体	36	50.1	53.3	41183.8	41582.3
国立大学	11	139.7	151.7	93445.0	98661.0
公立大学	3	10.3	12.0	2124.7	2540.5
私立大学	21	10.9	2.9	27336.1	25649.9
その他	1	7.0	7.0	248.0	248.0

### ③インターネットで視聴できる公開講座の取組

インターネットで視聴できる公開講座に関する取組についてきいたところ「パソコンのほか、タブレット端末や、スマートフォン等でも視聴できる」との回答が 86.8%の割合と高い。

図表 116 インターネットで視聴できる公開講座の取組 (n=38 複数回答)



# ④インターネットで視聴できる公開講座の今後の開設予定

現在、インターネットで視聴できる公開講座を開設していない大学に、今後の開設予定を聞いたところ、「予定はある」との回答割合は、1.7%に留まっている。

検討中である 10.9% 1.7% 予定はない 87.4%

図表 117 インターネットで視聴できる公開講座の今後の開設予定 (n=477)

# 【設置者別の回答状況】

設置者別にインターネットで視聴できる公開講座の今後の開設予定についてみた。国立大学および私立大学では、「予定はある」割合が 1.9%となっている。

図表 118 設置者別 インターネットで視聴できる公開講座の今後の開設予定

	全体	予定はある	予定はない	検討中である
全体	477	8	417	52
	( 100.0%)	( 1.7%)	( 87.4%)	( 10.9%)
国立大学	53	1	45	7
	( 100.0%)	( 1.9%)	( 84.9%)	( 13.2%)
公立大学	53	0	48	5
	( 100.0%)	( 0.0%)	( 90.6%)	( 9.4%)
私立大学	370	7	323	40
	( 100.0%)	( 1.9%)	( 87.3%)	( 10.8%)
その他	1	0	1	0
	( 100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

# 8 サテライト教室の設置状況

サテライト教室の設置有無についてきいた。「設置している」との回答割合は16.4%であった。

設置している 16.4% 設置していない 83.6%

図表 119 サテライト施設の設置状況 (n=642)

※ここでいう「サテライト教室」とは、大学設置基準(昭和 31 年文部省令第 28 号)第 25 条第 4 項に基づき設置され、本校に継続的に通うことが困難な者が教育を受けることができる本校以外のキャンパスを指す(サテライトキャンパス)

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別にサテライト教室の設置有無についてみた。特に国立大学の「設置している」との回答割合が 33.8%と高い。

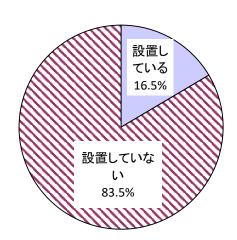
図表 120 設置者別 サテライト施設の設置状況

	全体	設置している	設置していない
全体	638	104	534
	( 100.0%)	( 16.3%)	( 83.7%)
国立大学	80	27	53
	( 100.0%)	( 33.8%)	66.3%)
公立大学	64	13	51
	( 100.0%)	( 20.3%)	( 79.7%)
私立大学	492	63	429
	( 100.0%)	( 12.8%)	( 87.2%)
その他	2	1	1
	( 100.0%)	( 50.0%)	( 50.0%)

# 9 保育施設の設置状況

#### ① 常設の保育施設

常設の保育施設の設置有無についてみた。「設置している」との回答割合は16.5%であった。



図表 121 常設の保育施設の設置状況(n=637)

#### 【設置者別の回答状況】

常設の保育施設の設置有無について設置者別にみたところ、国立大学は58.0%が「設置している」と回答しており、公立大学や私立大学を大きく上回っている。

図表 122 設置者別 常設の保育施設の設置状況 (n=637)

	全体	設置している	設置していない
全体	637	105	532
	( 100.0%)	( 16.5%)	( 83.5%)
国立大学	81	47	34
	( 100.0%)	( 58.0%)	( 42.0%)
公立大学	63	9	54
	( 100.0%)	( 14.3%)	( 85.7%)
私立大学	491	49	442
	( 100.0%)	( 10.0%)	( 90.0%)
その他	2	0	2
	( 100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

常設の保育施設を設置している大学において、利用対象者をみたところ、教職員や学生向けとなっている場合が多く、公開講座受講者を利用対象としている大学は少ない。

図表 123 設置者別 常設の保育施設の利用対象者(n=105)

	全体	教職員	学生	公開講座受講 者	(地域住民)一 般	その他
全体	105	95	61	10	27	14
	( 1.97)	( 90.5%)	( 58.1%)	( 9.5%)	( 25.7%)	( 13.3%)
国立大学	47	47	29	1	7	6
	( 1.91)	( 100.0%)	( 61.7%)	( 2.1%)	( 14.9%)	( 12.8%)
公立大学	9	9	6	1	0	0
	( 1.78)	( 100.0%)	( 66.7%)	( 11.1%)	( 0.0%)	( 0.0%)
私立大学	49	39	26	8	20	8
	( 2.06)	( 79.6%)	( 53.1%)	( 16.3%)	( 40.8%)	( 16.3%)

常設の保育施設を設置していない大学において今後の設置意向をみたところ、設置者にかかわらず「予定はない」との回答が多数を占めている。

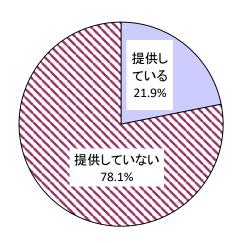
図表 124 設置者別 常設の保育施設の設置意向(n=412)

	全体		予定	定はある	予	定はない	検	討中である
全体		412		11		364		37
	(	100.0%)	(	2.7%)	(	88.3%)	(	9.0%)
国立大学		32		4		24		4
	(	100.0%)	(	12.5%)	(	75.0%)	(	12.5%)
公立大学		46		2		43		1
	(	100.0%)	(	4.3%)	(	93.5%)	(	2.2%)
私立大学		333		5		296		32
	(	100.0%)	(	1.5%)	(	88.9%)	(	9.6%)
その他		1		0		1		0
	(	100.0%)	(	0.0%)	(	100.0%)	(	0.0%)

# ② 保育サービスの提供

常設保育施設以外での、保育サービスの提供状況についてみたところ、「提供している」の割合は21.9%であった。

図表 125 保育サービスの提供状況(n=622)



#### 【設置者別の回答状況】

常設保育施設以外での、保育サービスの提供状況について設置者別にみたところ、国立大学は42.9%が「提供している」と回答しており、公立大学(21.7%)や私立大学(18.6%)を大きく上回っている。

図表 126 設置者別 保育サービスの提供状況(n=622)

	全体	提供している	提供していない
全体	622	136	486
	( 100.0%)	( 21.9%)	( 78.1%)
国立大学	77	33	44
	( 100.0%)	( 42.9%)	( 57.1%)
公立大学	60	13	47
	( 100.0%)	( 21.7%)	( 78.3%)
私立大学	483	90	393
	( 100.0%)	( 18.6%)	( 81.4%)
その他	2	0	2
	( 100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)

常設保育施設以外での、保育サービスの提供を行っている大学において提供対象者をみたところ、国立大学や私立大学では教職員向けとなっている場合が多い。他方で公立大学では公開講座受講者を利用対象としている大学が比較的多い。

図表 127 設置者別 保育サービスの提供対象者(n=136)

	全体	教職員	学生	公開講座受講 者	(地域住民)一 般	その他
全体	136	75	41	50	15	22
	( 1.49)	( 55.1%)	( 30.1%)	( 36.8%)	( 11.0%)	( 16.2%)
国立大学	34	30	14	6	1	12
	( 1.85)	( 88.2%)	( 41.2%)	( 17.6%)	( 2.9%)	( 35.3%)
公立大学	13	6	1	7	1	1
	( 1.23)	( 46.2%)	( 7.7%)	( 53.8%)	( 7.7%)	( 7.7%)
私立大学	89	39	26	37	13	9
	( 1.39)	( 43.8%)	( 29.2%)	( 41.6%)	( 14.6%)	( 10.1%)

常設保育施設以外での、保育サービスの提供を行っていない大学において今後の提供意向をみたところ、設置者にかかわらず「予定はない」との回答が多数を占めた。

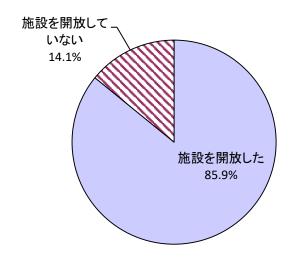
図表 128 設置者別 保育サービスの提供意向(n=373)

	全体		予定はある	予定はない	検討中である
全体		373	15	330	28
	(	100.0%)	( 4.0%)	( 88.5%)	( 7.5%)
国立大学		41	5	31	5
	(	100.0%)	( 12.2%)	( 75.6%)	( 12.2%)
公立大学		40	0	40	0
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)
私立大学		291	10	258	23
	(	100.0%)	( 3.4%)	( 88.7%)	( 7.9%)
その他		1	0	1	0
	(	100.0%)	( 0.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)

# 10 施設の開放状況

# ① 施設開放の有無

施設開放の実施有無についてきいた。「施設を開放した」との回答割合は85.9%であった。



図表 129 施設開放の有無 (n=637)

※ここでいう「施設の開放」とは、地域住民や子供たちに、社会教育活動やスポーツ等のために体育施設を貸し出したり地域 住民の図書館の利用を認めたりするなど、大学等の施設を開放することを指す。

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に施設開放の実施有無についてみた。国立大学において「施設を開放した」との回答割合が97.6%と高い。

図表 130 設置者別 施設開放の有無 (n=637)

		全体	施	設を開放し た		設を開放し ていない
全体		637		547		90
	(	100.0%)	(	85.9%)	(	14.1%)
国立大学		82		80	1	2
	(	100.0%)	(	97.6%)	1	2.4%)
公立大学		65		61		4
	(	100.0%)	(	93.8%)	(	6.2%)
私立大学		488		404		84
	(	100.0%)	(	82.8%)	(	17.2%)
その他		2		2		0
	(	100.0%)	(	100.0%)	(	0.0%)

# ② 施設開放の日数

施設別の開放日数についてきいた。図書館は1大学あたり平均391.7日、体育館は1大学あたり平均73.9日、グラウンドは1大学あたり平均108.7日、プールは1大学あたり平均30.1日となっている。

図表 131 施設別開放日数(日)

	図書	<b>書館</b>	体育	<u></u> 育館	グラ	 ウンド	プ-	-ル	そ0	の他
	解放している 大学数	平均解放日 数	解放している 大学数	平均解放日 数	解放している 大学数	平均解放日 数	解放している 大学数	平均解放日 数	解放している 大学数	平均解放日 数
全体	468	391.7	332.0	73.9	342.0	108.7	160	30.1	282	162.6
国立大学	77	734.0	52.0	142.3	57.0	230.9	39	22.8	57	276.2
公立大学	55	323.3	34.0	86.2	37.0	103.9	14	24.0	25	113.2
私立大学	335	324.7	245.0	57.6	247.0	81.0	107	33.5	200	136.4
その他	1	240.0	1	105.0	1	155.0	0	_	0	_

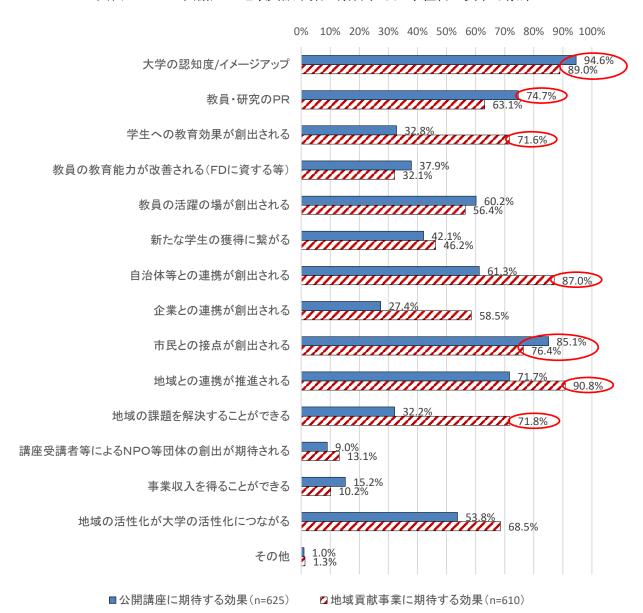
<sup>※</sup>複数の施設がある場合には、施設開放している延べ日数となっている。

### 11 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針

### (1)公開講座・地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果

公開講座及び地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果についてきいた。両設問共に多く回答されたのは「大学の認知度/イメージアップ(94.6%、89.0%)」「市民との接点が創出される(85.1%、76.4%)」。 公開講座については「教員・研究の PR (74.7%)」の回答割合が高い。また、地域貢献事業については、「地域との連携が創出される(90.8%)」「自治体等との連携が創出される(87.0%)」「地域の課題を解決することができる(71.8%)」「学生への教育効果が創出される(71.6%)」など、多くの項目について回答割合が高かった。

図表 132 公開講座・地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果



- 94 -

#### 【設置者別の回答状況】

設置者別に公開講座及び地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果についてみた。

公開講座については、いずれの設置者でも「大学の認知度/イメージアップ」「教員・研究のPR」「市民との接点が創出される」の回答割合が高い。国立大学では、特に「教員の教育能力が改善される(48.7%)」「教員の活躍の場が創出される(70.5%)」の回答割合が他の設置者に比べ高い。

地域貢献事業については、いずれの設置者でも「大学の認知度/イメージアップ」「自治体との連携が創出される」「地域との連携が創出される」の回答割合が高い。公立大学では特に、「地域との連携が推進される (96.8%)」の回答割合が他に比べ高い。

なお、各大学の回答個数についてみると、公開講座については全体では1 大学あたり 6.99 件なのに対し、地域貢献事業では1 大学あたり 8.36 件を回答している。大学では、地域貢献事業について、より様々な効果の発現を期待している。

図表 133 設置者別 公開講座に期待する大学経営に資する効果(複数回答)

	全'	/★		ジ	教員・研 究のPR	教	生への 育効果 創出さ る	改善され	教羅	の場が  出され	生	新たな学 生の獲得 まの獲得 に繋がる される		連	連携が創出される		出される 進される		題す	域の課 を解決 ること できる	講座受講 者等によ るNPO 等団体の 創出が期 待される	事 を と た	業収人 得るこ ができ	性化かス		その他	
全体		625		591	467		205	237		376		263	3	83	171	$\Gamma$	532	448		201	56		95		336		6
'	4	6.99	(	94.6%)	( 74.7%)	(	32.8%)	( 37.9%)	(	60.2%)	(	42.1%)	( 61.3	3%)	( 27.4%)	(	85.1%)	( 71.7%)	(	32.2%)	( 9.0%)	(	15.2%)	(	53.8%)	(	1.0%)
国立大学		78	Г	75	64		31	38		55		38		50	29	Г	73	58		38	17		28		48		2
	(	8.26)	(	96.2%)	( 82.1%)	(	39.7%)	( 48.7%)	(	70.5%)	(	48.7%)	( 64.	%)	( 37.2%)	(	93.6%)	( 74.4%)	(	48.7%)	( 21.8%)	(	35.9%)	(	61.5%)	(	2.6%)
公立大学		63		61	51		20	21		36	Г	33		31	20		54	38		22	2		4		31		2
	(	6.76)	(	96.8%)	( 81.0%)	(	31.7%)	( 33.3%)	(	57.1%)	(	52.4%)	( 49.2	2%)	( 31.7%)	(	85.7%)	( 60.3%)	(	34.9%)	( 3.2%)	(	6.3%)	(	49.2%)	(	3.2%)
私立大学		482		453	351		153	178		284		190	3	00	121		403	351		140	37		63		257		2
	(	6.81)	(	94.0%)	( 72.8%)	(	31.7%)	( 36.9%)	(	58.9%)	(	39.4%)	( 62.2	2%)	( 25.1%)	(	83.6%)	( 72.8%)	(	29.0%)	( 7.7%)	(	13.1%)	(	53.3%)	(	0.4%)
その他		2		2	1		1	0		1		2		2	1		2	1		1	0		0		0		0
	(	7.00)	<b>\</b> 1	00.0%)	( 50.0%)	(	50.0%)	( 0.0%)	(	50.0%)	(	100.0%)	( 100.0	)%)	( 50.0%)	(	100.0%	( 50.0%)	(	50.0%)	( 0.0%)	(	0.0%)	(	0.0%)	(	0.0%)

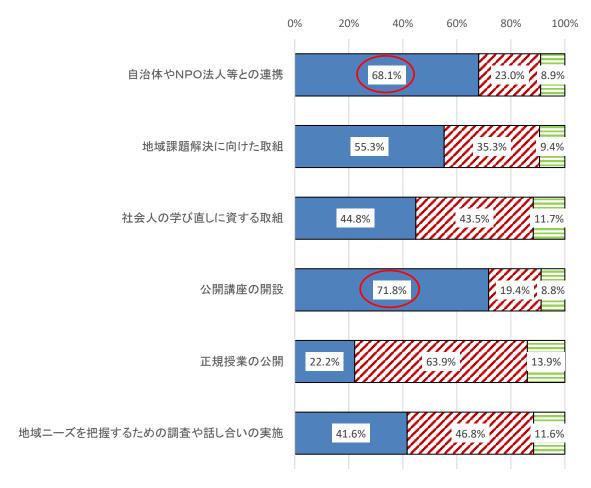
図表 134 設置者別 地域貢献事業に期待する大学経営に資する効果(複数回答)

	全体	本	大学( 知度/ メージ アップ	1		教育	生への 育効果 訓出さ る		教員の	が	新にな子 生の獲得 に繋がる	等と	治体 :の連 が創出 る	連携が創	市民との 接点が創 出される	地域との連携が推進される	地域の課 題を解決 すること ができる	講座受講 者等によ るNPO 等団体の 創出が期 待される	事業収入 を得るこ とができ	地域の対象になった。	が大 活性	その	他
全体		610		543	385		437	196	3	44	282		531	357	466	554	438	80	62		418		8
,	4	8.36	( 89	.0%)	( 63.1%)	(	71.6%)	( 32.1%)	( 56.4	1%)	( 46.2%)	(	87.0%)	( 58.5%)	( 76.4%)	( 90.8%)	( 71.8%)	( 13.1%)	( 10.2%)	( 68	3.5%)	(	1.3%)
国立大学		78		73	62		63	37		59	48		72	57	61	72	64	21	19		53		1
	(	9.77)	( 93	.6%)	( 79.5%)	(	80.8%)	( 47.4%)	( 75.6	3%)	( 61.5%)	(	92.3%)	( 73.1%)	( 78.2%)	( 92.3%)	( 82.1%)	( 26.9%)	( 24.4%)	(6	7.9%)	(	1.3%)
公立大学		62		60	47		41	17		35	30		52	43	46	60	53	4	2		45		3
	(	8.68)	( 96	.8%)	( 75.8%)	(	66.1%)	( 27.4%)	( 56.	5%)	( 48.4%)	(	83.9%)	( 69.4%)	( 74.2%)	(96.8%)	( 85.5%)	( 6.5%)	( 3.2%)	( 72	2.6%)	(	4.8%)
私立大学		469		409	275		333	142	2	50	204		406	256	358	421	320	55	41		320		4
	(	8.09)	( 87	.2%)	( 58.6%)	(	71.0%)	( 30.3%)	( 53.3	3%)	( 43.5%)	(	86.6%)	( 54.6%)	( 76.3%)	( 89.8%)	( 68.2%)	( 11.7%)	( 8.7%)	( 68	3.2%)	(	0.9%)
その他		1		1	1		0	0		0	0		1	1	1	1	1	0	0		0		0
	(	7.00)	( 100	0%)	( 100.0%)	(	0.0%)	( 0.0%)	( 0.0	)%)	( 0.0%)	(1)	00.0%	( 100.0%)	( 100.0%)	(100.0%)	( 100.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( (	0.0%)	(	0.0%)

# (2) 開かれた大学づくりの今後の方針に関して、平成30年度の事業計画への記載有無

開かれた大学づくりの今後の方針に関して、平成 30 年度の事業計画への記載有無をきいた。「公開講座の開設 (71.8%)」と「自治体や NPO 法人との連携 (68.1%)」の回答割合が高い。

図表 135 平成 30 年度の事業計画への記載有無 (n=649)



■記載はある ■記載はない 日無回答

### 【設置者別の回答状況】

設置者別に開かれた大学づくりの今後の方針に関して、平成30年度の事業計画への記載有無をみた。全体で回答割合の高かった「自治体やNPO法人との連携」、「公開講座の開設」とも、国立大学、公立大学の回答割合が高い。

図表 136 設置者別 平成 30 年度の事業計画への記載有無 (無回答除く)

自治体やNPO法人 等との連携		全体	ļ	記載はある	記	載はない
全体		591		442		149
	(	100.0%)	(	74.8%)	(	25.2%)
国立大学		77		73		4
	(	100.0%)	(	94.8%)	(	5.2%)
公立大学		59		49		10
	(	100.0%)	(	83.1%)	(	16.9%)
私立大学		453		320		133
	(	100.0%)	(	70.6%)	(	29.4%)
その他		2		0		2
	(	100.0%)	(	0.0%)	(	100.0%)

地域課題解決に向けた取組		全体	ţ	記載はある	言	己載はない
全体		588		359		229
	(	100.0%)	(	61.1%)	(	38.9%)
国立大学		78		64		14
	(	100.0%)	(	82.1%)	(	17.9%)
公立大学		60		50		10
	(	100.0%)	(	83.3%)	(	16.7%)
私立大学		448		245		203
	(	100.0%)	(	54.7%)	(	45.3%)
その他		2		0		2
	(	100.0%)	(	0.0%)	(	100.0%)

社会人の学び直しに 資する取組		全体	記	記載はある	記載はない
全体		573		291	282
	(	100.0%)	(	50.8%)	( 49.2%)
国立大学		75		63	12
	(	100.0%)	(	84.0%)	( 16.0%)
公立大学		58		37	21
	(	100.0%)	(	63.8%)	( 36.2%)
私立大学		438		190	248
	(	100.0%)	(	43.4%)	( 56.6%)
その他		2		1	1
	(	100.0%)	(	50.0%)	( 50.0%)

公開講座の開設		全体	ļ	記載はある	記載はない
全体		592		466	126
	(	100.0%)	(	78.7%)	( 21.3%)
国立大学		77		69	8
	(	100.0%)	(	89.6%)	( 10.4%)
公立大学		59		55	4
	(	100.0%)	(	93.2%)	( 6.8%)
私立大学		454		341	113
	(	100.0%)	(	75.1%)	( 24.9%)
その他		2		1	1
	(	100.0%)	(	50.0%)	( 50.0%)

正規授業の公開		全体	Ī	記載はある	ā	己載はない
全体		559		144		415
	(	100.0%)	(	25.8%)	(	74.2%)
国立大学		73		30		43
	(	100.0%)	(	41.1%)	(	58.9%)
公立大学		57		15		42
	(	100.0%)	(	26.3%)	(	73.7%)
私立大学		427		98		329
	(	100.0%)	(	23.0%)	(	77.0%)
その他		2		1		1
	(	100.0%)	(	50.0%)	(	50.0%)

地域ニーズを把握するための調査や話し 合いの実施		全体	Ē	記載はある	記載はない
全体		574		270	304
	(	100.0%)	(	47.0%)	( 53.0%)
国立大学		78		61	17
	(	100.0%)	(	78.2%)	( 21.8%)
公立大学		59		31	28
	(	100.0%)	(	52.5%)	( 47.5%)
私立大学		435		178	257
	(	100.0%)	(	40.9%)	( 59.1%)
その他		2		0	2
	(	100.0%)	(	0.0%)	( 100.0%)